

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかが示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

教養教育科目 カリキュラムマップ

①教養部における「人材の養成・教育研究上の目的」に則り、教養教育のカリキュラムは、大学教育の土台となる「基礎学力の育成」、ならびに多様な知識と価値観および深い洞察力を涵養する「リベラル・アーツの修得」を柱とする。②「基礎学力の育成」においては、情報収集力や言語表現力などの基礎学習力を培い、さらに課題発見力、論理的思考力、問題解決力、自己表現力を育成するために多彩な教育科目を展開する。③「リベラル・アーツの修得」においては、新たな価値の創造と知の多様性に対応できる人材の養成を目指して、人文科学・社会科学・自然科学の広範な領域、及び学際的なテーマを網羅した多種多様な科目を開講する。											
教養教育科目　カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー（DP）								
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探 求心の 育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			DP1-1 高い倫 理性と 豊かな 人間性 の涵養	DP2-1 多様な 文化との 価値観 の理解	DP2-2 他者との 協調性	DP3-1 情報収 集力を 培う	DP3-2 言語表 現力を 培う	DP3-3 課題発 見力を 養う	DP3-4 論理的 思考力 を養う	DP3-5 問題解 決力を 養う	DP3-6 自己表 現力を 養う
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方(分類法など)や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	◎	◎	◎	○		○	○	○	
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え(世界観・価値観)の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	◎	◎	◎	○		○	○	○	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅰ B132-841-01	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
教養セミナー 「学問の発見」Ⅱ B132-841-02	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
教養セミナー 「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形で授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
教養セミナー 「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形で授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようにすること。	○	○	○			◎	○	◎	○
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようにすること。	○	○	○			◎	○	◎	○
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	

教養教育科目 カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー (DP)								
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探求心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			DP1-1 高い倫理性と豊かな人間性の涵養	DP2-1 多様な文化と価値観の理解	DP2-2 他者と協調性	DP3-1 情報収集力を培う	DP3-2 言語表現力を培う	DP3-3 課題発見力を養う	DP3-4 論理的思考力を養う	DP3-5 問題解決力を養う	DP3-6 自己表現力を養う
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
美術Ⅰ B-131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出していく。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、執政制度・選挙制度などの政治制度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較して学ぶ。国際政治の仕組みについて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	
経済学Ⅰ B131-231-01	経済学の基礎概念をミクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、ミクロ経済学的に経済事象を論じることができるよう基礎的能力を身につける。						○	◎	◎	
経済学Ⅱ B131-231-02	経済学の基礎概念をマクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	マクロ経済学の基本的な概念を理解し、マクロ経済学的に経済事象を論じることができるよう基礎的能力を身につける。						○	◎	◎	
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会学的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会学的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を利活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○	○

教養教育科目 カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー（DP）										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3							
			自己探求心の育成	理解・協調性	基礎学力の育成								
					DP1-1	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP3-4	DP3-5	DP3-6
					高い倫理性と豊かな人間性の涵養	多様な文化と価値観の理解	他者との協調性	情報収集力を培う	言語表現力を培う	課題発見力を養う	論理的思考力を養う	問題解決力を養う	自己表現力を養う
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○				○		◎	◎	○	○	
歴史学Ⅰ B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△		○	○	◎		○	○	○
歴史学Ⅱ B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△		○	○	◎		○	○	○
地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なもののとらえ方を身に着ける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	△	◎	○		○		○	◎		○	
地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なもののとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べることができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	△	◎	○		○		○	◎		○	
数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。							○	◎		◎	△
数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。							○	◎		◎	△
統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。					◎		○	○		◎	
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。					◎		○	○		◎	
物理学Ⅰ B131-420-01	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。							△	◎		○	
物理学Ⅱ B131-420-02	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。							△	◎		○	
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。							△	◎		○	
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。							△	◎		○	
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。					△		○	◎		◎	

教養教育科目 カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3							
			自己探求心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成							
			DP1-1 高い倫理性と豊かな人間性の涵養	DP2-1 多様な文化との価値観の理解	DP2-2 他者との協調性	DP3-1 情報収集力を培う	DP3-2 言語表現力を培う	DP3-3 課題発見力を養う	DP3-4 論理的思考力を養う	DP3-5 問題解決力を養う	DP3-6 自己表現力を養う		
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。					△		○	◎	◎		
情報科学Ⅰ B131-601-01	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークの知識を習得する。	社会生活に役立つコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。						◎		○	○	◎	△
情報科学Ⅱ B131-601-02	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークのより進んだ知識を習得する。	社会生活に役立つより進んだコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。						◎		○	○	◎	△
情報科学Ⅲ B131-601-03	コンピュータを通して、データサイエンスに関してリテラシーレベルよりも一歩進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、リテラシーレベルよりも一歩進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。						◎		○	○	◎	△
情報科学Ⅳ B131-601-04	コンピュータを通して、データサイエンスに関してより進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、より進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。						◎		○	○	◎	△
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。	○	◎	◎			○		○	○	○	○
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。	○	◎	◎			○		○	○	○	○
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語(公案)を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する。	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する。	◎	○					△		○		
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する。	○	◎									△
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○				○		◎	○	○	
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○				○		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。	○	○	○			◎		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。	○	○	◎					○	○	◎	○
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。	◎	○	◎			○		○	○	○	
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようにになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。	○	◎	◎			○		○	○	○	○

教養教育科目 カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー (DP)								
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探 求心の 育成	理解・協調性	基礎学力の育成						
			DP1-1 高い倫 理性と 豊かな 人間性 の涵養	DP2-1 多様な 文化と 価値観 の理解	DP2-2 他者と の協調 性	DP3-1 情報収 集力を 培う	DP3-2 言語表 現力を 培う	DP3-3 課題発 見力を 養う	DP3-4 論理的 思考力 を養う	DP3-5 問題解 決力を 養う	DP3-6 自己表 現力を 養う
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる。		◎			◎				
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる。		◎			◎				
人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎	
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎	
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎	
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎	
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎	
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎	
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△
健康の科学 B231-594-01	健康や病気を理解するための基礎知識、とくに生活習慣との関わりや疾病予防の重要性について解説する。	健康的な生活を送るための基礎知識を身につけ、日常生活の中で実践できるようになることを目的とする。			△	△		○	○	◎	
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる。		○	○		◎				○

教養教育科目 カリキュラムマップ				教養教育科目のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探求心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			DP1-1 高い倫理性と豊かな人間性の涵養	DP2-1 多様な文化との価値観の理解	DP2-2 他者との協調性	DP3-1 情報収集力を培う	DP3-2 言語表現力を培う	DP3-3 課題発見力を養う	DP3-4 論理的思考力を養う	DP3-5 問題解決力を養う	DP3-6 自己表現力を養う
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる。		○	○		◎				○
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる。		○		○	◎		○		
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる。		○		○	◎		○		
英語Ⅰc B214-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる。		○			◎		○		○
英語Ⅱc B214-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる。		○			◎		○		○
ドイツ語Ⅰ B114-145-01	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ B114-145-02	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
中国語Ⅰ B114-147-01	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ B114-147-02	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
フランス語Ⅰ B114-146-01	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅱ B114-146-02	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ B114-148-01	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅱ B114-148-02	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
ドイツ文化事情 B124-145-61	ドイツ語圏の国々の思想・文化・社会の探究	「ドイツ」から今後の日本社会に優位な考え方を学び取る。		◎		○		○			
中国文化事情 B124-147-61	映像等を用い、中国の歴史、地理、社会等各方面から、中国語の背後にある中国文化の様々な側面を学び、多様な文化に対する理解を深める。	中国の社会や伝統文化に対する知識を増やし、より広い視野を持って、多様な文化、価値観が理解できるようになることを目指す。		◎		○		○			
フランス文化事情 B124-146-61	フランス人の物の考え方や、習慣、歴史、社会制度などを習得する。異文化理解が単一民族の日本人には重要であることを認識する。	個人の自由を重んじるフランス人の国民性を理解し、それが日常生活や社会制度の中で、どのように機能しているか考察を深める。		◎		○		◎	○	○	
韓国文化事情 B124-148-61	様々な文献・視聴覚資料を活用し、韓国・朝鮮の文化・社会・歴史などについて学ぶ。単なる知識の伝達ではなく、日本との比較などや、様々な観点からの観察・分析、「韓国文化」の全般について正しく理解していく。	日常の様々な事柄について客観的な立場から観察・分析力を身につけることができる。また、日韓の文化比較を行い様々な意見や情報交換によって、自分の意見を表明する積極性と論理性を高めることができる。		◎	○	○	○		◎		○

教養教育科目 カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー (DP)								
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探求心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			DP1-1	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP3-4	DP3-5	DP3-6
			高い倫理性と豊かな人間性の涵養	多様な文化との価値観の理解	他者との協調性	情報収集力を培う	言語表現力を見力をもつ	課題発見力を養う	論理的思考力を養う	問題解決力を養う	自己表現力を養う
日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。					◎		◎		○
日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。					◎		◎		○
日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。				○	◎		○		◎
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取り、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。				○	◎		○		◎
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。					◎		○	○	◎
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。				○	◎	○	◎	○	○
日本語Ⅰd B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べることができる。		○			◎		○		◎
日本語Ⅱd B214-139-08	ディベートやスピーチ学習などを通して、まとまりのある内容を的確に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。		○	○	○	◎	○	○	○	◎
日本語Ⅰe B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○	○
日本語Ⅱe B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○	○
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる。		○	○		◎				○
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる。		○	○		◎				○
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる。		○	○		◎		○		○
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる。		○	○		◎		○		○
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる。		○			◎		○		
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる。		○			◎		○		
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる。		○			◎		○		
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる。		○			◎		○		
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる。		○			◎		○		○
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる。		○			◎		○		○
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる。		○			◎		○		○
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる。		○			◎		○		○
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる。		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる。		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる。		○		○	◎		○		

教養教育科目 カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー (DP)								
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探求心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			DP1-1 高い倫理性と豊かな人間性の涵養	DP2-1 多様な文化と価値観の理解	DP2-2 他者との協調性	DP3-1 情報収集力を培う	DP3-2 言語表現力を培う	DP3-3 課題発見力を養う	DP3-4 論理的思考力を養う	DP3-5 問題解決力を養う	DP3-6 自己表現力を養う
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる。		○		○	◎		○		
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる。					◎		○		
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる。					◎		○		
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる。					◎		○		
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる。					◎		○		
ドイツ語Ⅰ(基礎) B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ(基礎) B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ(読解) B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ(読解) B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ(表現) B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ(表現) B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅲ(総合) B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅳ(総合) B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○		○
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○		○
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○		○
中国語Ⅰ(基礎) B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ(基礎) B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅲ(読解) B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語Ⅳ(読解) B234-147-22	中国語Ⅲ(読解)を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語Ⅲ(表現) B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ				教養教育科目のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探求心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			DP1-1 高い倫理性と豊かな人間性の涵養	DP2-1 多様な文化と価値観の理解	DP2-2 他者との協調性	DP3-1 情報収集力を培う	DP3-2 言語表現力を培う	DP3-3 課題発見力を養う	DP3-4 論理的思考力を養う	DP3-5 問題解決力を養う	DP3-6 自己表現力を養う
中国語Ⅳ(表現) B234-147-32	中国語Ⅲ(読解)を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語Ⅲ(総合) B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語Ⅳ(総合) B234-147-42	中国語Ⅲ(総合)を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようにする。中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
フランス語Ⅰ(基礎) B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅱ(基礎) B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ(読解) B234-146-21	フランス語の会話文や比較的読みやすい文学作品の文章を訳読し、その中の基本的な表現を暗記する。	テキストの各章のテーマにそって、登場人物による会話の機微を捉える。フランス語独特の言い回しに注意を払う。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ(読解) B234-146-22	会話文の中で描かれる日常生活のユーモアを読み解く。人生の指針となるような文章は、暗記して覚える。	会話文の登場人物になったつもりで、情感をこめて文章を音読する。共感を覚えた表現は、反復して忘れないようにする。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ(表現) B234-146-31	フランス語の会話文を読みながら、その口語表現が持っている微妙なニュアンスを読み取る。使用頻度の高い文は暗記する。	フランス語の会話文の中にちりばめられている、エスプリの効いた表現を覚え、自分の人生に当てはめてみる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ(表現) B234-146-32	フランス語の文学作品が描き出す人間感情の機微を読み取るようにする。感動した文は、暗記して心に留める。	文学作品の中に出てくる。感動的で重要な意味合いの文を、何度も反復しながら味読する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ(総合) B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ(総合) B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。		◎		○	◎		○		○
フランス語会話Ⅰ B234-146-51	フランス語の発音の仕方、身振り、手振りなどの動作、顔の表情などを、フランス人自身から直に学ぶ。	フランス人の発音、表情、動作などを、素直に反復することから始めて、外国人と対話する楽しみを知る。		◎		○	◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ				教養教育科目のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3					
			自己探求心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			DP1-1 高い倫理性と豊かな人間性の涵養	DP2-1 多様な文化と価値観の理解	DP2-2 他者との協調性	DP3-1 情報収集力を培う	DP3-2 言語表現力を培う	DP3-3 課題発見力を養う	DP3-4 論理的思考力を養う	DP3-5 問題解決力を養う	DP3-6 自己表現力を養う
フランス語会話Ⅱ B234-146-52	テキストの意味を理解するだけでなく、片言の語彙であっても、自分からフランス語を口に出して言ってみる。	進んで教師にフランス語で話しかけるようにする。文法を気にするよりも、身振りや表情を交えてコミュニケーションを取る。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ(基礎) B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅱ(基礎) B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ(読解) B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ(読解) B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ(表現) B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ(表現) B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ(総合) B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ(総合) B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する。あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができてとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることにより、積極的に話す機会を与える。	ハングルの読み書きが確実にできるようになる。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。		◎	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ			教養教育科目のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2		DP3						
			自己探求心の育成	理解・協調性	基礎学力の育成							
					DP1-1 高い倫理性と豊かな人間性の涵養	DP2-1 多様な文化と価値観の理解	DP2-2 他者との協調性	DP3-1 情報収集力を培う	DP3-2 言語表現力を培う	DP3-3 課題発見能力を養う	DP3-4 論理的思考力を養う	DP3-5 問題解決力を養う
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることににより、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルで必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。		◎	○		◎		○			○
スペイン語Ⅰ(基礎) B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。		◎	○		◎		○			○
スペイン語Ⅱ(基礎) B134-149-12	スペイン語Ⅰ(基礎)で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。		◎	○		◎		○			○
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎	
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎	
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○		△	△	△	◎	◎	
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎	◎	
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎	
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△	◎	
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部宗教文化学科カリキュラムマップ

文学部宗教文化学科							
愛知学院大学文学部宗教文化学科では、建学の精神を背景に、宗教文化に関する教育と研究を通じて養われた広い視野でグローバル社会に対応し、現代社会を生きぬく智慧と思いやりのある人間性を兼ね備え、社会に貢献できると判定した者に、学位を授与します。具体的には、以下の5つの力を判定します。							
文学部宗教文化学科 カリキュラムマップ			文学部宗教文化学科のディプロマポリシー（DP）				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。	多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。	宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。	宗教学、仏教学、神学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に活かすことができる。	卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。
宗教学入門Ⅰ R131-113-01	宗教的現象、神話や聖典、宗教儀礼など、広く宗教にかかわる事象について学ぶ。	宗教学の基礎的知識を身に付け、宗教学の視座を通して考えることができる。	◎	○	○		
宗教学入門Ⅱ R131-113-02	世界の諸宗教の教義や歴史、宗教儀礼などについて具体的に学ぶ。	諸宗教に関する知識を網羅的に修得し、諸宗教の文化的特色を知ることができる。	◎	○	○		
仏教学入門Ⅰ R131-112-01	今の時代において仏教を学ぶことの意味を考えるとともに、多様な研究方法の基礎を身に付ける。	インドに始まった仏教の歴史的展開を把握し、縁起思想や四諦などの基礎的な仏教用語を理解できる。	◎	○	○		
仏教学入門Ⅱ R131-112-02	大乘仏教の成立、さらには世界各地に伝わった仏教の展開とその変容を学ぶ。	日本を含めた東アジア、東南アジアやチベットなど、仏教の地域的な多様性とその背景を理解できる。	◎	○	○		
禅学入門Ⅰ R131-112-03	中国禅宗の歴史と思想を学び、禅を研究していく上で必要な基礎知識を習得する。	中国禅宗の歴史と思想を知り、理解することができる。	◎		○		
禅学入門Ⅱ R131-112-04	日本禅宗の歴史と思想、特に日本曹洞宗の両祖（道元・瑩山）の伝記・著作・思想について学ぶ。	日本禅宗の歴史と思想、特に道元・瑩山についての理解が深まる。	◎		○		
地域宗教文化Ⅰ－Ⅰ R131-113-03	日本を中心に、人々の暮らしと宗教文化がどのように関わっているのかを考える。	日常生活が宗教文化と深く結びついていることを理解できる。	◎	○	○		△
地域宗教文化Ⅰ－Ⅱ R131-113-04	フィールドワークを実施し、グループおよび個人による研究発表を行う。	フィールドワークのスキルが身に付き、調査の内容をプレゼンテーションできる。	○	○	◎		
地域宗教文化Ⅱ－Ⅰ R131-113-05	東アジアの文化や民族を理解して、日本文化との関係を学ぶ。	東アジアの文化の共通基盤を認識し、文化交流の大切さを理解できる。	○	◎	○		
地域宗教文化Ⅱ－Ⅱ R131-113-06	東アジアの文化や民族を理解して、日本文化との関係を学ぶ。	東アジアの文化の共通基盤を認識し、文化交流の大切さを理解できる。	○	◎	○		
地域宗教文化Ⅲ－Ⅰ R131-113-07	南アジアの民族や宗教文化について学び、日本文化との関係を考察する。	南アジアの文化の多様性を知り、文化交流の重要性を理解できる。	○	◎	○		
地域宗教文化Ⅲ－Ⅱ R131-113-08	南アジアの民族や宗教文化について学び、日本文化との関係を考察する。	南アジアの文化の多様性を知り、文化交流の重要性を理解できる。	○	◎	○		
宗教文化史Ⅰ R231-113-09	具体的な素材を通じて、広い視野から世界の宗教文化の形成と現在を学ぶ。	文化の多様性を知り、異文化交流の意義を理解できる。	◎	○	○		
宗教文化史Ⅱ R231-113-10	具体的な素材を通じて、広い視野から世界の宗教文化の形成と現在を学ぶ。	文化の多様性を知り、異文化交流の意義を理解できる。	◎	○	○		

文学部宗教文化学科 カリキュラムマップ			文学部宗教文化学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。	多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。	宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。	宗教学、仏教学、禅学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に活かすことができる。	卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。
仏教の歴史Ⅰ R231-112-05	インドに始まり世界各地に広まった仏教の姿を、歴史的な視点から把握する。	インドに始まり各地に伝わった仏教の歴史的な展開を、当時の社会状況を踏まえて理解できる。	◎	○	○		△
仏教の歴史Ⅱ R231-112-06	さまざまな地域に伝わり、世界宗教となってゆく仏教の展開を、歴史的な視点から学ぶ。	世界宗教のひとつに数えられる仏教の歴史的展開を、各地域の社会背景とともに理解できる。	◎	○	○		
禅宗史Ⅰ R331-112-07	唐代の著名な禅僧の生涯と思想を学ぶ。	唐代の禅の思想とその展開を理解できる。	◎		○		
禅宗史Ⅱ R331-112-08	宋代の著名な禅僧の生涯と思想を学ぶ。	宋代の禅の思想とその展開を理解できる。	◎		○		
宗教学英書入門Ⅰ R231-113-11	宗教にかかわる英語文献を読み、英語圏における宗教研究の成果を学ぶ。	英語を読む力を向上させ、宗教を通して異文化を理解できる。		◎	○	○	
宗教学英書入門Ⅱ R231-113-12	宗教にかかわる英語文献を読み、英語圏における宗教研究の成果を学ぶ。	英語を読む力を向上させ、宗教を通して異文化を理解できる。		◎	○	○	
仏教漢文入門Ⅰ R231-112-09	漢文の読解に必要な基本事項を学ぶとともに、翻訳語としての仏教漢文の特徴を理解する。	仏教漢文の特徴を知り、基礎的な仏教漢文を読むことができる。	○		○	◎	
仏教漢文入門Ⅱ R231-112-10	漢文を読むための基本的な文法を確認するとともに、例文の読解を通して仏教漢文の特徴を学ぶ。	日本を含めた東アジアの仏教研究に必須となる漢文の読解力を身に付ける。	○		○	◎	
パーリ語入門Ⅰ R231-112-11	パーリ語の歴史的、言語学的な位置づけを知り、パーリ語の文章を読むための基本的文法を学ぶ。	パーリ語が使用される地域やその歴史的背景を理解し、パーリ語の基礎的文法を身に付ける。		○	○	◎	
パーリ語入門Ⅱ R231-112-12	パーリ語の基本的文法を学ぶとともに、パーリ語の文章に触れつつ、その特徴を考察する。	パーリ語の文法や辞書の使用法を身に付け、基礎的なパーリ語の文章を読解できる。		○	○	◎	
サンスクリット語入門Ⅰ R231-112-13	サンスクリット語の文法を学び、インドの言語文化を学ぶ。	サンスクリット語の構造と文字に関する特徴を理解できる。	○	△		◎	
サンスクリット語入門Ⅱ R231-112-14	サンスクリット語の文法を学び、基礎的な文献を読む。	サンスクリット語文法を習得し、基礎的な文献を辞書を用いて自ら読解することができる。	○	△		◎	
現代社会と宗教Ⅰ R131-113-13	世界各地で起こっている諸問題について、宗教を切り口に考察する。	現代宗教について基礎的な知識を身に付け、世界で起こっている時事問題を、宗教の視座から考察できる。	○	◎	○		
現代社会と宗教Ⅱ R131-113-14	世界各地で起こっている諸問題について、宗教を切り口に考察する。	現代宗教に関する基礎的な知識を身に付け、世界各地の時事問題を、宗教の視座から考察できる。	○	◎	○		
宗教と民俗文化Ⅰ R331-113-15	民俗学の成果をふまえて、人々の日常生活の中に溶け込んでいる宗教を自覚し学ぶ。	フィールドワークの方法と視点を身に付け、地域社会が持つ役割を理解できる。		○	◎	○	
宗教と民俗文化Ⅱ R331-113-16	民俗学の成果をふまえて、人々の日常生活の中に溶け込んでいる宗教を自覚し学ぶ。	フィールドワークの方法と視点を身に付け、地域社会が持つ役割を理解できる。		○	◎	○	

文学部宗教文化学科 カリキュラムマップ			文学部宗教文化学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。	多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。	宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。	宗教学、仏教学、神学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に活かすことができる。	卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。
比較宗教史Ⅰ R331-113-17	古代文明の開花、および諸宗教の起源と展開について比較宗教学の視点から学ぶ。	世界の諸宗教の起源と形成過程について、その歴史的経過や思想的特色を理解することができる。	◎	○	○	○	
比較宗教史Ⅱ R331-113-18	世界の諸宗教の成立史や信仰の特色について、比較宗教学の視点から学ぶ。	諸宗教の成立史と信仰の特色を理解し、相互に比較しながら考察できる。	◎	○	○	○	
比較宗教思想Ⅰ R231-113-19	各地域の宗教思想を比較し考察する。	様々な宗教思想を、比較の観点から相対化して説明することができる。	○	◎	○		○
比較宗教思想Ⅱ R231-113-20	各地域の宗教思想を比較し考察する。	様々な宗教思想を、比較の観点から相対化して説明することができる。	○	◎	○		○
宗教社会学Ⅰ R331-113-21	宗教社会学の理論と方法を学び、それを用いて現代的な諸問題を考察する。	宗教と社会の相関関係について、学術的なものの見方ができる。	○	○	◎		○
宗教社会学Ⅱ R331-113-22	宗教社会学の理論と方法を学び、それを用いて現代的な諸問題を考察する。	宗教と社会の相関関係について、学術的なものの見方ができる。	○	○	◎		○
宗教心理学Ⅰ R331-113-23	宗教現象を心理学的な視点から学ぶ。	宗教と人間との関わりをより深く、心理学的な視点から理解することができる。	○	○	◎		○
宗教心理学Ⅱ R331-113-24	宗教現象を心理学的な視点から学ぶ。	宗教と人間との関わりをより深く、心理学的な視点から理解することができる。	○	○	◎		○
宗教人類学Ⅰ R331-113-25	宗教人類学的研究に欠かせない、諸理論と研究手法の基礎を学ぶ。	宗教人類学の諸理論や研究方法、宗教人類学的な視座から宗教の諸現象を考察することができる。	○	◎	○	○	
宗教人類学Ⅱ R331-113-26	宗教人類学の諸理論と研究方法を用い、発展的な問題を考察する。	宗教人類学の諸理論や研究方法、宗教人類学的な視座から宗教の諸現象を考察できる。	○	◎	○	○	
宗教教理学Ⅰ R331-113-27	世界に広がっているキリスト教をとりあげて、その信仰内容、組織および典礼について学ぶ。	西洋文明やキリスト教について説明できる。	○		◎		○
宗教教理学Ⅱ R331-113-28	世界に広がっているキリスト教をとりあげて、その信仰内容、組織および典礼について学ぶ。	西洋文明やキリスト教について説明できる。	○		◎		○
仏典講読Ⅰ R331-112-15	大乘仏教の代表的な経典を読み、漢文の読み、専門用語、思想を学ぶ。	仏教漢文の知識を習得し、経典固有の思想を理解できる。	○	○	◎		
仏典講読Ⅱ R331-112-16	大乘仏教の代表的な経典を読み、漢文の読み、専門用語、思想を学ぶ。	仏教漢文の知識を習得し、経典固有の思想を理解できる。	○	○	◎		
インド仏教の思想Ⅰ R331-112-17	インドにおいて展開した仏教の思想を、他の宗教思想や当時の社会背景とともに学ぶ。	インド仏教の思想について、他の思想との交流など、多角的な視点から考察できる。	○	○	◎		△
インド仏教の思想Ⅱ R331-112-18	インドにおいて展開した仏教の思想について、原典やその翻訳などを参照しながら、その特徴を学ぶ。	インド仏教の思想について、原典やその翻訳などを分析し、その思想的特徴を理解できる。	○	○	◎		△

文学部宗教文化学科 カリキュラムマップ			文学部宗教文化学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。	多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。	宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。	宗教学、仏教学、禅学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に活かすことができる。	卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。
仏教の中国的展開Ⅰ R231-112-19	中国において仏教が広まり、変容していった歴史的展開を学ぶ。	仏教が中国に伝わった経緯を理解し、中国における歴史的展開を理解できる。	◎	○			△
仏教の中国的展開Ⅱ R231-112-20	中国において仏教が広まり、変容していった歴史的展開を学ぶ。	中国において独自の展開を見せた仏教の歴史を、社会的な背景とともに理解できる。	◎	○			△
中国仏教の思想Ⅰ R231-112-21	中国において独自の展開を遂げた中国仏教の思想について、原典やその翻訳を参照しながら学ぶ。	中国仏教の思想を、文献資料の講読を通して理解できる。	○	○	◎		△
中国仏教の思想Ⅱ R231-112-22	中国において独自の展開を遂げた中国仏教の思想について、原典やその翻訳を参照しながら学ぶ。	中国仏教の思想を、文献資料の講読を通して理解できる。	○	○	◎		△
仏教の日本的展開Ⅰ R231-112-23	仏教が中国を経由し、日本でどのように変容したのかを学ぶ。	日本仏教の特徴を知ることにより、日本人の思考法を解明できる。	○	△		◎	
仏教の日本的展開Ⅱ R231-112-24	仏教が中国を経由し、日本でどのように変容したのかを学ぶ。	日本仏教の特徴を知ることにより、日本人の思考法を解明できる。	○	△		◎	
日本仏教の思想Ⅰ R331-112-25	日本仏教の特定の書物を読み、その思想や当時の社会状況を学ぶ。	仏教書物を読むことにより、作者の思想的特徴が理解できる。	○		◎		
日本仏教の思想Ⅱ R331-112-26	日本仏教の特定の書物を読み、その思想や当時の社会状況を学ぶ。	仏教書物を読むことにより、作者の思想的特徴が理解できる。	○		◎		
現代社会と仏教Ⅰ R131-112-27	現代社会において仏教が果たす役割を、具体的な事例から学ぶ。	現代社会において仏教が果たしている役割について理解できる。	○		◎	○	△
現代社会と仏教Ⅱ R131-112-28	現代社会において仏教が果たすべき役割を、社会における実例なども取り上げながら考察する。	現代社会における仏教の果たす役割について、具体的な事例を分析し、考察できる。	○		◎	○	△
仏教美術Ⅰ R331-112-29	仏像や仏教建築の種類、特徴などを映像資料を通して学ぶ。	仏像や仏教建築の特徴を知ることにより、仏教の基本的考えが習得できる。	◎	△	○		
仏教美術Ⅱ R331-112-30	仏像や仏教建築の種類、特徴などを、映像資料を通して学ぶ。	仏像や仏教建築の特徴を知ることにより、仏教の基本的考えが習得できる。	◎	△	○		
禅語録講読Ⅰ R231-112-31	禅宗の主要語録を講読して、禅修行の基盤となる思想を学ぶ。	禅の専門用語を理解し、自らの実践に生かすことができる。	○		◎		
禅語録講読Ⅱ R231-112-32	禅宗の主要語録を講読して、禅修行の基盤となる思想を学ぶ。	禅の専門用語を理解し、自らの生活に生かすことができる。	○		◎		
禅の思想Ⅰ－Ⅰ R231-112-33	道元研究の回顧と現況を知り、道元の伝記を読むことにより、道元の生涯を知る。	道元研究において現在問題となっている点を理解し、伝記を読むことにより、文献研究の方法を理解する。	○		◎		
禅の思想Ⅰ－Ⅱ R231-112-34	道元の著作である『普勸坐禅儀』『正法眼蔵』等の講読を行う。	道元の著作を読み、その思想が理解できる。	○		◎		

文学部宗教文化学科 カリキュラムマップ			文学部宗教文化学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。	多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。	宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。	宗教学、仏教学、神学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に活かすことができる。	卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。
禅の思想Ⅱ－Ⅰ R231-112-35	中国禅の思想を、代表的書物を通して学ぶ。	中国禅研究において現在問題となっている点を理解し、代表的な書物を読むことにより、文献研究の方法を理解する。	○		◎		
禅の思想Ⅱ－Ⅱ R231-112-36	中国禅の思想を、代表的書物を通して学ぶ。	中国禅研究において現在問題となっている点を理解し、代表的な書物を読むことにより、文献研究の方法を理解する。	○		◎		
禅と芸術Ⅰ R331-112-37	禅がどのように中国文化に影響を与えたかを、芸術作品を通して学ぶ。	禅の思想を知ることにより、中国の芸術文化をより深く理解できる。	◎		○	○	
禅と芸術Ⅱ R331-112-38	禅がどのように日本文化に影響を与えたかを、芸術作品を通して学ぶ。	禅の思想を知ることにより、日本の芸術文化をより深く理解できる。	◎		○	○	
教化布教特講 R231-112-39	釈尊の教え、曹洞宗旨を理解し、布教の一つの方法である「法話」の心得を学ぶ。	将来、僧侶として生かすことのできるコミュニケーション能力を身に付けることができる。	○	◎	○	◎	
行持の基礎 R231-112-40	宗門の僧侶としての基本的な法式・作法を習得するための講義と実習を行う。	行持の実践としての法式・作法の意味を理解し、基本作法が身につく。	○		○	◎	
坐禅Ⅰ R231-112-41	坐禅の実習を行う。また、道元の『普勸坐禅儀』を学ぶ。	只管打坐の坐禅を理解し、正しく実修できる。	○			◎	
坐禅Ⅱ R231-112-42	坐禅の実習を行う。また、瑩山の『坐禅用心記』を学ぶ。	只管打坐の坐禅を理解し、正しく実修できる。	○			◎	
西洋古典の文化Ⅰ R231-113-29	ラテン語の文法を習得し、古典時代の文学、教育、キリスト教の関係を学ぶ。	西洋の言語と文化について基礎的な事項を説明できる。	◎	○	○		
西洋古典の文化Ⅱ R231-113-30	ラテン語の文法を習得し、古典時代の文学、教育、キリスト教の関係を学ぶ。	西洋の言語と文化について基礎的な事項を説明できる。	◎	○	○		
西洋の思想Ⅰ R231-113-31	古代から近代までの西洋哲学の歴史をたどり、哲学者の思考に学ぶ。	論理的に考え、分析する力を身に付けることができる。	○		○		◎
西洋の思想Ⅱ R231-113-32	古代から近代までの西洋哲学の歴史をたどり、哲学者の思考に学ぶ。	論理的に考え、分析する力を身に付けることができる。	○		○		◎
インドの思想Ⅰ R231-112-43	バラモン教やそこから展開したヒンドゥー教、仏教の姉妹宗教とされるジャйна教など、多様なインドの思想を学ぶ。	仏教の思想にも大きく影響を与えたインドの思想を学び、インドにおける多様な思想を理解できる。	○	◎			△
インドの思想Ⅱ R231-112-44	ヒンドゥー教やジャйна教などの思想を、原典やその翻訳を参照しつつ学ぶ。	インドに見られる多様な宗教やその思想を知り、思想のつづきと言われるインドの地域的特徴を理解できる。	○	◎			△
中国の思想Ⅰ R231-112-45	儒教や道教など、中国において展開した伝統思想を理解し、中国思想の特徴を学ぶ。	日本にも影響を与えた中国の伝統思想を学び、多様な思想について理解できる。	○	◎			△
中国の思想Ⅱ R231-112-46	中国において展開した伝統思想を理解し、中国思想の特徴を学ぶ。	日本にも影響を与えた中国の伝統思想を理解し、多様な思想について理解できる。	○	◎			△
日本の思想Ⅰ R231-113-33	思想史学の成果をふまえ、日本宗教史の形成について学ぶ。	日本人の思想・価値観について海外に発信できる。	◎	○	○		

文学部宗教文化学科 カリキュラムマップ			文学部宗教文化学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。	多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。	宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。	宗教学、仏教学、禪学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に活かすことができる。	卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。
日本の思想Ⅱ R231-113-34	思想史学の成果をふまえ、日本宗教史の形成について学ぶ。	日本人の思想・価値観について海外に発信できる。	◎	○	○		
日本の仏教Ⅰ R231-112-47	書物の講読や儀礼の研究を通して、日本仏教の歴史を学ぶ。	日本仏教の歴史を知り、時代ごとの思想的特徴を理解できる。	◎	○	△		
日本の仏教Ⅱ R231-112-48	書物の講読や儀礼の研究を通して、日本仏教の歴史を学ぶ。	日本仏教の歴史を知り、時代ごとの思想的特徴を理解できる。	◎	○		○	
基礎セミナーⅠ R132-841-01	レポート作成やプレゼンテーションの方法など、大学教育に必要な基礎的スキルを修得する。	大学教育に必要な基礎的学力を身に付けることによって、自らの意見をまとめ、伝えることができる。			◎		
基礎セミナーⅡ R232-841-02	大学で学ぶ意義を再確認するとともに、社会人として働く意義やキャリアについて学ぶ。	社会人としての意味や役割を自ら考え、表現できる。		△	○		◎
宗教文化セミナーⅠ R322-842-01	宗教文化を中心に、何について研究したいかを明確にしておく。キャリア研究も行う。	文献検索・研究発表・質疑応答・ディスカッションの能力を高めることができる。	○	○	○		◎
宗教文化セミナーⅡ R322-842-02	宗教文化を中心に、文献検索・研究発表・質疑応答・ディスカッションを行う。	自分で課題を選定し、情報を収集し、それを考察して相手に説明することができる。	○	○	○		◎
仏教文化セミナーⅠ R322-842-03	仏教文化を中心に、何について研究したいかを明確にしておく。キャリア研究も行う。	文献検索・研究発表・質疑応答・ディスカッションの能力を高めることができる。	○	○	○		◎
仏教文化セミナーⅡ R322-842-04	仏教文化を中心に、文献検索・研究発表・質疑応答・ディスカッションを行う。	自分で課題を選定し、情報を収集し、それを考察して相手に説明することができる。	○	○	○		◎
禅文化セミナーⅠ R322-842-05	禅文化を中心に、何について研究したいかを明確にしておく。キャリア研究も行う。	文献検索・研究発表・質疑応答・ディスカッションの能力を高めることができる。	○	○	○		◎
禅文化セミナーⅡ R322-842-06	禅文化を中心に、文献検索・研究発表・質疑応答・ディスカッションを行う。	自分で課題を選定し、情報を収集し、それを考察して相手に説明することができる。	○	○	○		◎
総合セミナーⅠ R412-842-07	卒業論文の完成に向けて、論題を決定する。同時に、論文の要旨の作成・目次立て・参考文献の収集などを行う。	資料収集の方法を身に付け、論文執筆の過程での論理的思考力や分析力・表現力を修得することができる。	○	○	○		◎
総合セミナーⅡ R412-842-08	卒業論文の完成に向けて、論題を決定し、卒業論文を執筆する。	卒業論文の作成で、課題発見力・情報収集力・論理的思考や分析力・表現力を修得できる。	○	○	○		◎
卒業論文 R416-845-01	4年間の学修の集大成として、卒業論文を作成する。	総合セミナーにおいて完成した研究の成果を、文章で的確に説明できる。	○	○	○		◎

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部宗教文化学科 自由選択科目カリキュラムマップ			文学部宗教文化学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			宗教文化の理解を中心として、人間を取り巻く自然・社会・文化についての幅広い教養を身につけている。	多様な宗教文化への理解と柔軟性のある対応力を備え、様々な価値観や思考法をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる。	宗教文化に関する様々な課題を発見し、基礎的な文献を読み解く文献学的研究やフィールドワークにより、自律的かつ創造的に研究できる。	宗教学、仏教学、神学に関する高度かつ専門的な知識・技能を有し、それを実践に活かすことができる。	卒業論文の作成で、選定段階での課題発見力、資料や参考文献の探索を通しての情報収集力、論文執筆の過程での論理的思考や分析力・表現力を修得し、考察・研究の成果を口頭および文書で的確にプレゼンテーションできる。
キャリア・デザイン Q131-861-01	自分自身の将来・進路を考えるうえで必要なステップを、講義・演習を踏まえて体験し、自分に何が必要なのか、今後何をすべきかを、明確にする。就職活動の実際についての情報提供を行いながら、最終的には自分の特徴・強みや、目標などを表現できるようになることをねらいとする。	進路選択に向けて、これから何をすべきか、自分なりの行動計画を立案できる。就職活動時にも必要となる自己表現を、自信をもって行えるようになる。社会で必要とされる力をチェックし、自分の力を伸ばす行動につなげられる。業界・企業について、具体的に情報収集・比較し、進路の検討を始められる。チームで動く際に必要なコミュニケーション力を何度も試し、自信をもてる。		○	○	○	◎
インターンシップ Q238-861-02	企業や公的機関が実施するインターンシップに参加することにより、学生時代のアルバイト経験とは異なる仕事・活動を体験し、業種・業界知識や職場・職種の知識を得て、就業意欲を高める。	社会における社員レベルでの現実的な就業を体験し、就業への準備ができる。就職活動時に実際の体験や知識を生かしスムーズな就業活動ができる。一連のインターンシップの活動を通じて社会人としての行動をとることができる。		◎	○	○	○
地域連携学A Q231-861-05	産業界や行政のみでは対応できない問題に、市民セクターがどのような取り組みをしているかを、社会課題の解決に果敢に挑戦する実務者を講師として学ぶ。7つのテーマ「防災、子育て、教育、障がい、高齢化、国際、環境」から、それぞれ何が問題であり課題なのかを一緒に考える。	第1に社会課題とその課題解決の方法・実践を学び生活者としての視野を広げ、自分もできる事を考えられるようになる。第2に講師との対話やグループでのディスカッションを通してコミュニケーション能力を向上させることができる。	○	◎	◎		○
地域連携学C Q132-261-01	東日本大震災による津波被害と放射線被害を受けた福島県伊達郡川俣町の山木屋に赴き、山木屋をまるごと体験することや地域の方々との交流を通して復興の現状と力強く生きていくことの意味を実感する。	フィールドワークを通して、「生きる力」への気付きを得て、自己を成長させることができる。被災地の現状を実感することができる。	◎	○	◎	○	
地域連携学D Q132-861-10	人口減少と少子高齢化が進む過疎化地域の北海道厚沢部町が、大学と連携し、アウトキャンパス事業を始めた。この事業に参加する学生が、厚沢部ファンの獲得を目指した活動を考え実践する。	地域課題を調べ、課題の解決に寄与するアイデアを提案できる。提案したアイデアの実践に向けて活動できる。			◎	○	○

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部歴史学科カリキュラムマップ

文学部歴史学科							
愛知学院大学歴史学科は、「過去と現在の対話」を通して「歴史」に対する関心と理解を深め、歴史的現象の原因と結果に関する論理的な分析力、その本質に関する自由で豊かな洞察力、それを社会に発信するプレゼンテーション力といった総合的な歴史力の養成を行うことを教育理念とします。							
本学科はこうした歴史力を現代社会の諸問題の理解や解決に必須の能力ととらえ、その育成を通して現代社会に貢献できる人材育成を行うことを第1の目標とします。また専門的研究分野の枠をこえて世界史的で多角的な広い視野を育むことを第2の教育目標とします。							
文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー（DP）				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料の分析・活用法の修得	② 論理的思考の訓練	③ 現代的問題へのアプローチ	④ 世界史的・多角的な視野と人間力の育成	⑤ 学術的な卒業論文の作成
日本史概説Ⅰ H111-162-01	日本の古代・中世の歴史に関する最新の研究動向や史料の解釈等を学ぶ。	日本の古代・中世史の知識を確認し自ら補習できる。史料・文献の読解等の意欲が高まる。	○	◎	○	○	
日本史概説Ⅱ H111-162-02	日本の近世・近代の歴史に関する最新の研究動向や史料の解釈等を学ぶ。	日本の近世・近代史の知識を確認し自ら補習できる。現代的課題の歴史的検討を行うことができる。	○	◎	○	○	
東洋史概説Ⅰ H111-163-01	中国の古代・中世の歴史に関する基礎知識を確認する。	王朝の変遷を説明できる。中国と周辺地域との関係について説明できる。	○	◎	△	◎	
東洋史概説Ⅱ H111-163-02	中国の近世から近現代までの基本的な歴史の流れを周辺諸国の動向をふまえながら学ぶ。	近世以降の中国史について、関連史料をもとに多角的視点から説明できる。	○	◎	◎	◎	
西洋史概説Ⅰ H111-165-01	古代から中世のヨーロッパ史の基本事項を考察する。	古代・中世ヨーロッパ社会の問題点を考え世界史全体のなかでとらえることができる。	○	◎			
西洋史概説Ⅱ H111-165-02	近代西洋世界の展開過程を辿り、現代世界の形成に西洋が果たした役割について考える。各時期・各事件相互の因果関係等の解釈を中心に進める。	西洋で生まれた主権国家・民主主義・資本主義というシステムの抱える歴史的問題を理解できる。未来の創造につながる教養が身につく。	○	◎	◎	○	
イスラム圏史概説 H111-164-01	イスラム圏の歴史をその中核たる中東地域を中心に概観する。	イスラム圏史の基本的知識を習得し、その世界史における役割を理解する。	○	◎	◎	○	
考古学概説Ⅰ H111-166-01	旧石器時代から弥生時代にかけてモノからみた文化や社会を通史的にとらえる。	どのようなモノ（遺跡・遺構・遺物）で構成されているのか具体的に理解できる。	◎	○	○	○	
考古学概説Ⅱ H111-166-02	邪馬台国・古墳・埴輪・古代寺院・窯業史・戦国城下町など、歴史考古学の研究成果について学習する。	歴史考古学の研究史や現状・課題を通して、考古学研究の可能性が理解できるようになる。	○	◎	○		
史学概論Ⅰ H211-161-01	歴史とは何か、何のために学ぶのか、どのような方法によって研究するのかなどについて、西洋の著名な歴史学者によるアプローチを説明する。	いま生きている時代の価値観とは何かに気づく。自らの歴史観を形成していくための基礎力が身につく。	◎	◎	◎		
史学概論Ⅱ H211-161-02	歴史学の史料と史料の分析の方法について講義する。	史料を説明できる。史料批判の方法を理解する。	◎	◎	◎		
考古学概論 H211-166-01	明治時代より考古学の方法論が研究されてきたので、その代表例を分析することで研究の方法論を理解させる。	考古学の方法論をととしてモノに対する研究の在り方を具体的に理解することができる。	○	◎	◎	○	
東西交渉史Ⅰ H331-161-01	ユーラシア大陸の東西を架橋した交流の歴史を辿る。	異なる文化圏を俯瞰する幅広い視角で歴史を理解できるようになる。		○	○	◎	
東西交渉史Ⅱ H331-161-02	ユーラシア大陸の東西を架橋した交流の歴史を辿る。	異なる文化圏を俯瞰する幅広い視角で歴史を理解できるようになる。		○	◎	◎	
国際関係史Ⅰ H331-161-03	19世紀国際関係史の展開・構造・特徴を講義する。ウィーン体制の成立から西洋・東洋のかかわりを主なテーマとする。	近代国際関係の構造や特徴を学ぶことによって、現代国際関係を考えるうえでの教養を深めることができる。		◎	◎	◎	
国際関係史Ⅱ H331-161-04	中国を中心とした近現代の東アジアをめぐる国際関係について、関連史料をふまえながら学ぶ。	近現代の国際関係に東アジアがいかなる役割を果たしたか、歴史的に理解できる。		◎	◎	◎	
日本史基礎講読A－Ⅰ H232-162-03	古代の様々な文献を紹介し、歴史学への関心と基礎的な用語に慣れる。史料を読み解釈することで、中世史料を読む基礎的能力を身につける。	古代・中世史料に親しむことで、当時の独特な言葉や用語について知ることができる。古代・中世の社会の基本的な知識を身につけることができる。	◎	◎		○	

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代の問題へ のアプローチ	④ 世界史的・ 多角的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
日本史基礎講読 A－II H232-162-04	中世の様々なテーマに触れ、自ら調べ、辞書や辞典の使い方に慣れる。在地の文書を読む力を身につけ、中世的な支配の仕組みを学ぶ。	古代・中世史料に親しむことで、当時の独特な言葉や用語について知ることができる。古代・中世の社会の基本的な知識を身につけることができる。	○	○		○	
日本史基礎講読 B－I H232-162-05	日本近世・近代史の資料を基礎から学び、文書読解能力を向上させる。	日本近世・近代史の活字やくずし字などの史料の読解ができるようになる。	○	○	○	○	
日本史基礎講読 B－II H232-162-06	日本近世・近代史の史料にふれ、読解するとともに、課題を立てて報告を行う。	日本近世・近代史の史料を読解でき、その取り扱いができるようになる。	○	○	○	○	
東洋史基礎講読 A－I H232-163-03	中国史を研究するうえで必要な漢文講読の基礎を学ぶ。	漢和辞典の使い方が身につく。書き下しの基礎が身につく。	○	○	△	○	
東洋史基礎講読 A－II H232-163-04	中国史を研究するうえで必要な漢文講読の基礎を学ぶ。	漢和辞典の使い方が身につく。書き下しの基礎が身につく。	○	○	△	○	
東洋史基礎講読 B－I H232-163-05	研究に必要な現代中国語文の発音と読解の基礎を学ぶ。	中国語の読解を通して、中国および周辺アジア諸国への理解を深める。	○	○	○	○	
東洋史基礎講読 B－II H232-163-06	研究に必要な現代中国語文の発音と読解の基礎を学ぶ。	中国語の読解を通して、中国および周辺アジア諸国への理解を深める。	○	○	○	○	
西洋史基礎講読 A－I H232-165-03	英語の歴史文献を読みつつ、西洋古代中世史研究の基礎的技術に触れる。	西洋古代中世史に関する基本的英文を理解することができるようになる。	○	○			
西洋史基礎講読 A－II H232-165-04	英語の歴史文献を読みつつ、西洋史研究の基礎的技術を実践する。	西洋古代中世史に関する英文の背景を理解することができるようになる。	○	○			
西洋史基礎講読 B－I H232-165-05	西洋近代史に関する英文・和文資料を輪読して、近現代史理解に不可欠の主要なテーマに対する理解を深めていく。	歴史系英文読解力が高まり、歴史を暗記として捉えるのではなく、問題を自ら発見し解決する力が身につく。	○	○	○	○	
西洋史基礎講読 B－II H232-165-06	西洋近代史に関する英文・和文資料を輪読して、近現代史理解に不可欠の主要なテーマに対する理解を深めていく。	歴史系英文読解力が高まり、歴史を暗記として捉えるのではなく、問題を自ら発見し解決する力が身につく。	○	○	○	○	
イスラム圏史基礎 講読 I H232-164-02	イスラム圏史を専門的に学ぶための基礎文献を講読する。	イスラム圏史に関する英語や日本語の基本的文献が読解できるようになる。	○	○	○	○	
イスラム圏史基礎 講読 II H232-164-03	イスラム圏史を専門的に学ぶための基礎文献を講読する。	イスラム圏史に関する英語や日本語の基本的文献が読解できるようになる。	○	○	○	○	
考古学基礎講読 A－I H232-166-03	考古学の基本となる埋蔵文化財の内容を学ぶことで文化財保護法の意義を考えさせる。	埋蔵文化財の仕組みや法律的な手順など理解することができる。	○	○	○	○	
考古学基礎講読 A－II H232-166-04	発掘調査後に出土品整理作業を行うことで作業の工程を学習させることができる。	出土品整理作業の工程の一部を習得することができる。	○	○			
考古学基礎講読 B－I H232-166-05	「文化財保護法」とその関連法規、および埋蔵文化財の発掘方法について学習する。	考古学研究の意義・方法、発掘調査と文化財保護行政の関係が理解できるようになる。	○	○	○		
考古学基礎講読 B－II H232-166-06	洗浄・注記・分類・接合・復原・実測など、出土遺物の整理作業に必要な基礎技術について学習する。	歴史考古学の遺物整理に必要な基礎的技術が習得できる。	○	○			
日本史特殊講義 A－I H231-162-07	日本古代・中世史について政治・文化を中心に講義する。	日本古代・中世史に関する諸問題が把握できる。	○		○		
日本史特殊講義 A－II H231-162-08	日本古代・中世史について政治・文化を中心に講義する。	日本古代・中世史に関する諸問題が把握できる。	○		○		

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー（DP）				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代の問題へ のアプローチ	④ 世界史的・ 多角的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
日本史特殊講義 B－I H231-162-09	日本近世後期から近現代について、政治史を中心に講義する。	日本近現代史の多面的な姿が把握できるようになる。		○	◎	◎	
日本史特殊講義 B－II H231-162-10	日本近現代の政治史を中心に講義する。	日本近現代の多面的な政治構造を理解することができる。		○	◎	◎	
東洋史特殊講義 A－I H231-163-07	古代中国の政治文化について講義する。	古代中国に関する諸問題を把握できる。			◎	○	
東洋史特殊講義 A－II H231-163-08	古代中国の政治文化について講義する。	古代中国に関する諸問題を把握できる。			◎	○	
東洋史特殊講義 B－I H231-163-09	中国の近現代史について、関連史料をふまえながら講義する。	中国の近現代史に関する諸問題を理解できる。			◎	○	
東洋史特殊講義 B－II H231-163-10	中国の近現代史について、関連史料をふまえながら講義する。	中国の近現代史に関する諸問題を理解できる。			◎	○	
西洋史特殊講義 A－I H231-165-07	西洋の古代・中世史に関する講義。	西洋の古代・中世史に関する諸問題を理解できる。			◎	○	
西洋史特殊講義 A－II H231-165-08	西洋の古代・中世史に関する講義。	西洋の古代・中世史に関する諸問題を理解できる。			◎	○	
西洋史特殊講義 B－I H231-165-09	西洋の近現代史に関する講義。	西洋の近現代史に関する諸問題を理解できる。			◎	◎	
西洋史特殊講義 B－II H231-165-10	西洋の近現代史に関する講義。	西洋の近現代史に関する諸問題を理解できる。			◎	◎	
イスラム圏史特殊 講義Ⅰ H231-164-04	特定のテーマについての講義を通じて、イスラム圏史を専門的に論じる。	イスラム圏史を専門的に学ぶための基礎的学力を身につける。	○	○	◎	○	
イスラム圏史特殊 講義Ⅱ H231-164-05	特定のテーマについての講義を通じて、イスラム圏史を専門的に論じる。	イスラム圏史を専門的に学ぶための基礎的学力を身につける。	○	○	◎	○	
考古学特殊講義 A－I H231-166-07	弥生文化の枠組みについて、具体的な事例をあげながら研究史で振り返る。	弥生時代の研究史から方法論を習得するなかで論理的組立てをすることができる。	○	○	◎	△	
考古学特殊講義 A－II H231-166-08	弥生時代の代表的な稲作と金属器文化の始まりに関して東海地域の研究から学ぶ。	東西日本の交差点である東海地域の研究から、現代に続く東西日本文化の深層を理解することができる。	○	○	◎	△	
考古学特殊講義 B－I H231-166-09	弥生時代後期から古墳時代にかけての墳丘墓・巨大古墳・群集墳について学習する。	古墳時代における考古学研究の基礎的な知識、研究の現状・課題が理解できる。	○	○	◎		
考古学特殊講義 B－II H231-166-10	飛鳥寺・法隆寺・国分寺などの古代寺院、難波宮・藤原京・平城京・平安京など古代官衙について学習する。	古代における考古学研究の基礎的な知識、研究の現状・課題が理解できる。	○	○	◎		
地域史特殊講義 C－I H231-162-11	日本近世の尾張・美濃の地域の歴史の個性を、日本史のなかでとらえる。	地域の歴史を日本史のなかでとらえることができる。史料の価値や保存について説明できる。	○	○	◎		
地域史特殊講義 C－II H231-162-12	日本近世の尾張・美濃の地域の歴史の個性を、日本史のなかでとらえる。	地域の歴史を日本史のなかでとらえることができる。史料の価値や保存について説明できる。	○	○	◎		
世界史特殊講義 C－I H231-161-03	近現代における戦争と社会の諸問題を考える。	学説や史料から近現代の諸問題を考えることができる。			◎	◎	

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー（DP）				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代的問題へ のアプローチ	④ 世界史的・ 多角的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
世界史特殊講義 C－Ⅱ H231-161-04	近現代における戦争と社会の諸問題を考える。	学説や史料から近現代の諸問題を考えることができる。			◎	◎	
文化財科学特殊講義 C－Ⅰ H231-167-01	骨角製品や木製品等についての取り扱いや保存処理、分析方法などを中心に、埋蔵文化財の保存科学について考える。	骨角製品・木製品・ウルシ製品や伝世する紙製品等の資料について、分析方法、保存処理の方法等が理解できる。	◎		◎		
文化財科学特殊講義 C－Ⅱ H231-167-02	動物遺体資料を用いて過去の生活・社会をどのように復元するかを理解することを目指す。	遺跡から出土する動植物遺体に基づいた過去の生活・社会復元の方法と結果が理解できる。	◎		◎		
日本史専門講読 A－Ⅰ H332-162-13	テキストに提示された古代の史料の解釈及び参考文献の読解と紹介。戦国期の分国法を読んで、戦国大名の自己意識や当時の社会的仕組みを理解する。	自らの力で原典を探し出し、参考文献に当たりながら論点を見つけ説明できる。戦国大名の基本的な支配方法や制度について理解できる。史料の読解力が身につく。	◎	◎			○
日本史専門講読 A－Ⅱ H332-162-14	テキストに提示された中世の史料の解釈及び参考文献の読解と紹介。織田信長の文書や資料を読む。	自らの力で原典を探し出し、参考文献に当たりながら論点を見つけ説明できる。中世の文書や記録を読むことで、資料読解能力を高めることができる。	◎	◎			○
日本史専門講読 B－Ⅰ H332-162-15	近世古文書の整理と研究を実践する。昭和戦前期政治史研究の基本資料である『木戸幸一日記』を読解し、近代史研究の基礎を養う。	近世古文書の整理と調査の方法を習得できる。近代史における日記資料の基本的な読み方、調べ方を学ぶことができる。	◎	◎	△	○	○
日本史専門講読 B－Ⅱ H332-162-16	興味のある分野の史料と文献を探し報告する。昭和戦前期政治史研究の基本資料である『木戸幸一日記』を読解し、近代史研究の基礎を養う。	近世史料の検索と読解、発表方法を習得できる。近代における日記資料の活用の方法を学ぶことができる。	◎	◎		○	○
東洋史専門講読 A－Ⅰ H332-163-11	漢文講読の技能を身につけるために史料読解を行う。	書き下しの能力があがる。現代語訳の能力があがる。	◎	◎	△	◎	○
東洋史専門講読 A－Ⅱ H332-163-12	漢文講読の技能を身につけるために史料読解を行う。	書き下しの能力があがる。現代語訳の能力があがる。	◎	◎	△	◎	○
東洋史専門講読 B－Ⅰ H332-163-13	中国近現代史に関する中国語の文献を発音しながら、日本語に読解していく。	中国語文献の読解をととして、歴史理解を深める。	◎	◎	○	◎	○
東洋史専門講読 B－Ⅱ H332-163-14	中国近現代史に関する中国語文献を発音し、日本語に読解していく。	中国語文献の読解をととして、歴史理解を深める。	◎	◎	○	◎	○
西洋史専門講読 A－Ⅰ H332-165-11	西洋古代中世史に関する英文を読み、史料から西洋古代中世史を考える。	西洋古代中世史の英語専門文献を読解できるようになる。	◎	◎			○
西洋史専門講読 A－Ⅱ H332-165-12	春学期に引き続き、西洋古代中世史に関する英文を読み、史料とその背景について考える。	西洋古代中世史の英語専門文献の史料の背景を理解できるようになる。	◎	◎			○
西洋史専門講読 B－Ⅰ H332-165-13	19・20世紀のヨーロッパ史における主要な出来事を、英文および和文資料の輪読を中心として、ヨーロッパ史の発展に対する理解を深めていく。	英文読解力及び語彙力を高める。現代に通じる諸問題の歴史的起源を追究する力が高まる。	◎	◎			○
西洋史専門講読 B－Ⅱ H332-165-14	19・20世紀のヨーロッパ史における主要な出来事を、英文および和文資料の輪読を中心として、ヨーロッパ史の発展に対する理解を深めていく。	英文読解力及び語彙力を高める。現代に通じる諸問題の歴史的起源を追究する力が高まる。	◎	◎			○
イスラム圏史専門 講読Ⅰ H332-164-06	イスラム圏史に関する英語や日本語の文献を輪読する。	英語読解力を高め、また歴史的思考力をみがくことができる。	◎	◎	○	○	○
イスラム圏史専門 講読Ⅱ H332-164-07	イスラム圏史に関する英語や日本語の文献を輪読する。	英語読解力を高め、また歴史的思考力をみがくことができる。	◎	◎	○	○	○

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー（DP）				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代の問題へ のアプローチ	④ 世界的・多 元的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
考古学専門講読 A－I H332-166-11	旧石器時代、縄文時代の主要な論文を取り上げ、その研究視点を理解させる。	具体的に論文の内容が把握されるので、理解度が増し、あわせて現状の研究水準が理解できる。	◎	◎	○	○	○
考古学専門講読 A－II H332-166-12	先史考古学の主要論文をとりあげてその内容を探求して発表させる。	研究者の視点を調べることで、研究の推移を理解することができる。	◎	◎	○	○	○
考古学専門講読 B－I H332-166-13	V.G.チャイルド著『考古学の方法』を精読することにより、考古学研究の基礎である「型式」について学習する。	考古学研究の歴史や、基本的な方法論である「型式学」「層位学」について理解できるようになる。	◎	◎		○	○
考古学専門講読 B－II H332-166-14	V.G.チャイルド著『考古学の方法』を精読することにより、「型式」の解釈方法について学習する。	「型式」の解釈を通じて、考古学研究の重要な方法論である「編年論」「分布論」が理解できるようになる。	◎	◎		○	○
日本史基礎演習 A－I H332-162-17	室町時代の皇族の日記を読む。	中世の漢文のテキストの基本的な読み方の訓練により、辞典や辞書の使い方に慣れることができる。	◎	◎			◎
日本史基礎演習 A－I H332-162-17	中世史料を読解し、辞書で調べ、レジュメを作成して報告する。	天文期の史料を調査し、戦国期の三河の国人の様相を知ることができる。	◎	◎			◎
日本史基礎演習 A－II H332-162-18	室町時代の皇族の日記を読む。	テキストの基本的な解釈の仕方の訓練を行い、史料から情報を引き出せるようになる。	◎	◎			◎
日本史基礎演習 A－II H332-162-18	中世史料を読解し、辞書で調べ、レジュメを作成して報告する。	信長と足利義昭の上洛の史料を調査し当時の社会的勢力との関係を知ることができる。	◎	◎			◎
日本史基礎演習 B－I H332-162-19	日本近世史の基礎知識や学説を講義し、それに関連した調査を学生自身が行う。	日本近世史の知識を確認し復習できる。自分で調査や発表ができる。	◎	◎	△	○	◎
日本史基礎演習 B－I H332-162-19	日本近現代史を読み解く上での基礎力養成を主眼とする。	近現代政治史の研究に必要な研究史整理の方法、資料読解、論点の導き方、立論の仕方などを習得する。	◎	◎			◎
日本史基礎演習 B－II H332-162-20	日本近世史の研究のため必要な基礎知識や学説を講義し、それに関連した調査を学生自身が行う。	日本近世史の知識を確認し復習するとともに、研究の流れを理解できる。より専門的な内容を自分で調査・発表できる。	◎	◎	△	○	◎
日本史基礎演習 B－II H332-162-20	日本近現代史を読み解く上での基礎力養成とともに、研究方法を学んでいく。	近現代政治史の研究に必要な、資料読解、論点の導き方、立論の仕方などを習得する。	◎	◎			◎
東洋史基礎演習 A－I H332-163-15	東洋古代・中世に関して各自が興味あることを調べて発表する。	文献を探ることができる。文献を読んだまとめる能力が身につく。プレゼンテーション能力が身につく。	◎	◎	△	◎	◎
東洋史基礎演習 A－II H332-163-16	東洋古代・中世に関して各自が興味あることを調べて発表する。	文献を探ることができる。文献を読んだまとめる能力が身につく。プレゼンテーション能力が身につく。	◎	◎	△	◎	◎
東洋史基礎演習 B－I H332-163-17	東洋近世・近現代史に関して各自が興味あることを調べて発表する。	文献を探ることができる。文献を読んだまとめる能力が身につく。プレゼンテーション能力が身につく。	◎	◎	○	◎	◎
東洋史基礎演習 B－II H332-163-18	東洋近世・近現代史に関して各自が興味あることを調べて発表する。	文献を探ることができる。文献を読んだまとめる能力が身につく。プレゼンテーション能力が身につく。	◎	◎	○	◎	◎
西洋史基礎演習 A－I H332-165-15	西洋古代中世史の様々な問題について、資料を集め、分析発表しレポートを書く。	西洋古代中世史研究の基礎的技術を身につけることができる。	◎	◎		◎	◎
西洋史基礎演習 A－II H332-165-16	西洋古代中世史に関する問題を取りあげ、各自で研究発表する。	西洋古代中世史に関して自分の研究テーマを見つけ、研究を進めることができる。	◎	◎		◎	◎
西洋史基礎演習 B－I H332-165-17	西洋近現代史の諸問題を個別・グループ研究・発表及び討論することを通して問題及び資料分析・整理力と自己表現力を高める。	西洋近現代史研究に必要な資料収集、読解、整理、報告に関する技術を身につけ、研究に必要な自らの問題意識を形成できる。	◎	◎		◎	◎

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代的問題へ のアプローチ	④ 世界的・ 多元的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
西洋史基礎演習 B－II H332-165-18	西洋近現代史の諸問題を個別・グループ研究・発表及び討論することを通して問題及び資料分析・整理力と自己表現力を高める。	西洋近現代史研究に必要な資料収集、読解、整理、報告に関する技術を身につけ、研究に必要な自らの問題意識を形成できる。	○	○		○	○
イスラム圏史基礎 演習 I H332-164-08	イスラム圏を対象とした研究をするための基礎的な学力を養成する。	研究発表・レポート作成等を通じ、問題設定・資料分析・論理的表現の基礎が身につく。	○	○	○	○	○
イスラム圏史基礎 演習 II H332-164-09	イスラム圏を対象とした研究をするための基礎的な学力を養成する。	研究発表・レポート作成等を通じ、問題設定・資料分析・論理的表現の基礎が身につく。	○	○	○	○	○
考古学基礎演習 A－I H332-166-15	実習で発掘調査した出土品のうち石器実測に重きをおき、モノの本質を考えさせる。	実測を通して遺物の製作技術の理解度が増すので、正確な図を描くようになる。	○	○		○	○
考古学基礎演習 A－II H332-166-16	出土した遺物の実測作業とその出土状態等の図面整理、作成を行わせる。	遺物の実測や図面作成を通して報告書の作成法を理解することができる。	○	○		○	○
考古学基礎演習 B－I H332-166-17	出土遺物の接合・実測など報告書作成にあたって基礎的な整理作業を学習する。個別に研究テーマを発表する。	出土遺物の整理や個別発表・討論を通して、歴史考古学の研究方法が理解できるようになる。	○	○		○	○
考古学基礎演習 B－II H332-166-18	実測図のトレース、写真撮影など報告書作成にあたって基礎的な編集作業を学習する。個別に研究テーマを発表する。	報告書の編集や個別発表・討論を通して、歴史考古学の研究テーマを絞り込むことができるようになる。	○	○		○	○
日本史特殊研究 A－I H331-162-21	特定のテーマについての講義を通じて日本古代・中世史を専門的に論じる。	日本古代・中世史を学ぶための発展的学力を身につける。	○	○	○		
日本史特殊研究 A－II H331-162-22	特定のテーマについての講義を通じて日本古代・中世史を専門的に論じる。	日本古代・中世史を学ぶための発展的学力を身につける。	○	○	○		
日本史特殊研究 B－I H331-162-23	特定のテーマについての講義を通じて日本近世・近現代史を専門的に論じる。	日本近世・近現代史を学ぶための発展的学力を身につける。	○	○	○		
日本史特殊研究 B－II H331-162-24	特定のテーマについての講義を通じて日本近世・近現代史を専門的に論じる。	日本近世・近現代史を学ぶための発展的学力を身につける。	○	○	○		
東洋史特殊研究 A－I H331-163-19	特定のテーマについての講義を通じて東洋古代・中世史を専門的に論じる。	東洋古代・中世史を学ぶための発展的学力を身につける。	△	○	○	○	
東洋史特殊研究 A－II H331-163-20	特定のテーマについての講義を通じて東洋古代・中世史を専門的に論じる。	東洋古代・中世史を学ぶための発展的学力を身につける。	△	○	○	○	
東洋史特殊研究 B－I H331-163-21	特定のテーマについての講義を通じて東洋近代史を専門的に論じる。	東洋近代史を学ぶための発展的学力を身につける。	△	○	○	○	
東洋史特殊研究 B－II H331-163-22	特定のテーマについての講義を通じて東洋近代史を専門的に論じる。	東洋近代史を学ぶための発展的学力を身につける。	△	○	○	○	
西洋史特殊研究 A－I H331-165-19	特定のテーマについての講義を通じて西洋古代・中世史を専門的に論じる。	西洋古代・中世史を学ぶための発展的学力を身につける。			○	○	
西洋史特殊研究 A－II H331-165-20	特定のテーマについての講義を通じて西洋古代・中世史を専門的に論じる。	西洋古代・中世史を学ぶための発展的学力を身につける。	○		○	△	
西洋史特殊研究 B－I H331-165-21	特定のテーマについての講義を通じて西洋近世・近現代史を専門的に論じる。	西洋近世・近現代史を学ぶための発展的学力を身につける。			○	△	
西洋史特殊研究 B－II H331-165-22	特定のテーマについての講義を通じて西洋近世・近現代史を専門的に論じる。	西洋近世・近現代史を学ぶための発展的学力を身につける。			○	○	

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代的問題へ のアプローチ	④ 世界的・多 元的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
イスラム圏史特殊 研究Ⅰ H331-164-10	特定のテーマについての講義を通じ て、イスラム圏史を専門的に論じる。	イスラム圏史を専門的に学ぶための発 展的学力を身につける。			◎	○	
イスラム圏史特殊 研究Ⅱ H331-164-11	特定のテーマについての講義を通じ て、イスラム圏史を専門的に論じる。	イスラム圏史を専門的に学ぶための発 展的学力を身につける。			◎	○	
考古学特殊研究 A-Ⅰ H331-166-19	特定のテーマについての講義を通じて 先史考古学を専門的に論じる。	先史考古学を専門的に学ぶ力を身につ ける。			◎	△	
考古学特殊研究 A-Ⅱ H331-166-20	特定のテーマについての講義を通じて 先史考古学を専門的に論じる。	先史考古学を専門的に学ぶ力を身につ ける。			◎	○	
考古学特殊研究 B-Ⅰ H331-166-21	特定のテーマについての講義を通じて 歴史考古学を専門的に論じる。	歴史考古学を専門的に学ぶ力を身につ ける。	○	○	◎		
考古学特殊研究 B-Ⅱ H331-166-22	特定のテーマについての講義を通じて 歴史考古学を専門的に論じる。	歴史考古学を専門的に学ぶ力を身につ ける。	○	○	◎		
地域史特殊研究 C-Ⅰ H331-182-03	日本史に関する専門的な項目を講義す る。	日本史に関する専門的な知識を身につ ける。	△	○	○		
地域史特殊研究 C-Ⅱ H331-182-04	日本史に関する専門的な項目を講義す る。	日本史に関する専門的な知識を身につ ける。	△	○	○		
世界史特殊研究 C-Ⅰ H331-161-05	特定のテーマの講義を通じて世界史に 関する専門知識を学ぶ。	世界史に関する専門知識を身につけ る。			◎	○	
世界史特殊研究 C-Ⅱ H331-161-06	特定のテーマの講義を通じて世界史に 関する専門知識を学ぶ。	世界史に関する専門知識を身につけ る。			◎	○	
文化財科学特殊研究 C-Ⅰ H331-167-03	動物と人間の関わり合いの歴史につい て動物遺体の性格や基本的な扱い方を 理解することを目指す。	動物遺体について、土器・石器等との 類似点・相違点を通して情報の引き出 し方が理解できる。	◎		◎		
文化財科学特殊研究 C-Ⅱ H331-167-04	動物遺体について動物考古学的な分析 手法や生態学的な分析手法などを用い て、日本列島の先史時代の生活や社会 を探索する。	遺跡から出土する動物植物遺体に基づ いた過去の生活・社会復元の方法と結果 が理解できる。	◎		◎		
日本史専門演習 A-Ⅰ H432-162-25	日本古代・中世史に関する専門的な発 表を行う。	日本古代・中世史に関する専門的な研 究を整理して問題点を抽出できる。	◎	◎			◎
日本史専門演習 A-Ⅱ H432-162-26	日本古代・中世史に関する専門的な発 表を行う。	日本古代・中世史に関する専門的な研 究を整理して問題点を抽出できる。	◎	◎			◎
日本史専門演習 B-Ⅰ H432-162-27	日本近世・近現代史に関する専門的な 発表を行う。	日本近世・近現代史に関する専門的な 研究を整理して問題点を抽出できる。	◎	◎			◎
日本史専門演習 B-Ⅱ H432-162-28	日本近世・近現代史に関する専門的な 発表を行う。	日本近世・近現代史に関する専門的な 研究を整理して問題点を抽出できる。	◎	◎			◎
東洋史専門演習 A-Ⅰ H432-163-23	東洋古代・中世史に関する専門的な発 表を行う。	東洋古代・中世史に関する専門的な研 究を整理して問題点を抽出できる。	◎	◎			◎
東洋史専門演習 A-Ⅱ H432-163-24	東洋古代・中世史に関する専門的な発 表を行う。	東洋古代・中世史に関する専門的な研 究を整理して問題点を抽出できる。	◎	◎			◎
東洋史専門演習 B-Ⅰ H432-163-25	東洋近世・近現代史に関する専門的な 発表を行う。	東洋近世・近現代史に関する専門的な 研究を整理して問題点を抽出できる。	◎	◎			◎

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代の問題へ のアプローチ	④ 世界史的・ 多角的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
東洋史専門演習 B-II H432-163-26	東洋近世・近現代史に関する専門的な発表を行う。	東洋近世・近現代史に関する専門的な研究を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
西洋史専門演習 A-I H432-165-23	西洋古代・中世史に関する専門的な発表を行う。	西洋古代・中世史に関する専門的な研究を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
西洋史専門演習 A-II H432-165-24	西洋古代・中世史に関する専門的な発表を行う。	西洋古代・中世史に関する専門的な研究を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
西洋史専門演習 B-I H432-165-25	西洋近世・近現代史に関する専門的な発表を行う。	西洋近世・近現代史に関する専門的な研究を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
西洋史専門演習 B-II H432-165-26	西洋近世・近現代史に関する専門的な発表を行う。	西洋近世・近現代史に関する専門的な研究を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
イスラム圏史専門 演習 I H432-164-12	イスラム圏史に関する専門的な発表を行う。	イスラム圏史に関する専門的な研究を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
イスラム圏史専門 演習 II H432-164-13	イスラム圏史に関する専門的な発表を行う。	イスラム圏史に関する専門的な研究を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
考古学専門演習 A-I H432-166-23	先史考古学に関する専門的な発表を行う。	先史考古学に関する専門的な問題点を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
考古学専門演習 A-II H432-166-24	先史考古学に関する専門的な発表を行う。	先史考古学に関する専門的な問題点を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
考古学専門演習 B-I H432-166-25	歴史考古学に関する専門的な発表を行う。	歴史考古学に関する専門的な問題点を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
考古学専門演習 B-II H432-166-26	歴史考古学に関する専門的な発表を行う。	歴史考古学に関する専門的な問題点を整理して問題点を抽出できる。	○	○			○
卒業論文 H416-161-01	4年間の学修の集大成として卒業論文を作成する。	史料・研究を整理分析し、自ら揭示した問題を論理的に証明できる。	○	○	○	○	○
地理学 A H131-181-01	中学・高校の地理教育で扱われる基礎的なトピックを中心に、人文地理学を学ぶ。	地理教育で扱われる基礎的なトピックについて、基礎的な知識を人に説明できるようになる。		○	○	○	
地理学 B H131-181-02	地表面に関する様々な情報を、実際に地図やグラフにまとめ考察する方法を習得するとともに、地理学的な考え方を養う。	地形図や統計値に基づいて、目的に沿った地図・グラフを自分で作成、適切に理解して考察することができるようになる。	○	○	○		
地誌 H131-182-01	世界地誌に着眼して、世界の諸地域を広く概観し、自然・人文の両面から総合的に地域的特色を把握する。	地誌学の基本的な考え方・見方などを習得できる。地理的知識の空間認識力が養成できる。	○	○	○	○	
組織社会学 I H131-261-01	現代社会の傾向を、組織に焦点を当てた文献を共に読むことによって理解することを目指す。	テキスト読解に基づくレジュメと口頭発表、自分の興味関心に引きつけたレポート作成とその内容の共有ができる。	○	○	○		
組織社会学 II H131-261-02	現代社会の傾向を、組織に焦点を当てた文献を共に読むことによって理解することを目指す。	テキスト読解に基づくレジュメと口頭発表、自分の興味関心に引きつけたレポート作成とその内容の共有ができる。	○	○	○		
文化人類学 I H131-183-01	文化の構成要素である「生業」「社会」「経済活動」「慣習」「衣食住」「儀礼」など文化人類学の基礎知識を学修する。	文化人類学の基礎知識として文化とは何かを、さらに文化の多様性をも理解できるようになる。	○	○	○	○	

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代的問題へ のアプローチ	④ 世界史的・ 多角的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
文化人類学Ⅱ H131-183-02	人種・民族・国家とは何か、また「医療」「宗教」「ジェンダー」「芸術」など現代の文化人類学の動向について学修する。	現代の多文化社会・国家のなかで、人類がどのように共生してゆくべきかを考えられるようになる。	○	○	○	◎	
中国文化史入門 H131-163-01	中国における伝統的な飲食文化の茶と麺類について講義する。	茶の産地・種類・小麦製品の分類を説明できる。中国の南北の地域差による食の地域性を説明できる。	△	△	○	◎	
韓国・朝鮮文化史入門 H131-163-02	日韓の文化交流と歴史認識について講義する。	日韓の同質性と異質性について説明できる。	△	△	◎	◎	
自然地理学Ⅰ H231-181-01	毎回、自然地理学に関連の深い1つの疑問を取り上げ、それを解き明かしながら自然地理学の考え方・知識・面白さを学ぶ。	自然地理学の主要分野の考え方と基礎的知識を説明できる。身近な風景の成り立ちや自然現象を自然地理学的観点から考察できる。		○	○	◎	
自然地理学Ⅱ H231-181-02	自然地理学の視点から、東海丘陵の自然環境の歴史や特色を里地・里山に焦点をあてて学ぶ。	海地方の丘陵地の里地・里山の自然環境の特色について説明できる。その保全について考察できる。	○		◎	○	
古文書学Ⅰ H231-162-29	古代・中世の古文書の様式や発給手続きを知り、支配システムを理解し、日本史研究の基礎的方法を身につける。	日本風の漢文で書かれた古代・中世の古文書を読み、単語の独特な読み方や意味、返り点などに慣れる。日本史を専門に学習する基本的な能力が身につく。	◎	○			
古文書学Ⅱ H231-162-30	近世古文書についての入門。初歩的な古文書を辞書を使って読んでいき、その意義を明らかにする。	近世の古文書を辞書を使って解読できる。歴史史料の伝来と保存について意義と方法を理解する。	◎	○	○		
日本民俗学Ⅰ H231-183-01	現代日本の年中行事や祭礼を映像資料で提示して日本民俗学の基礎的な考え方と調査法について理解を深める。	現代の日本各地年中行事や祭礼などの実態を理解できる。民俗学的調査や地域の民俗文化財に関心を持てる。	◎	○	◎	○	
日本民俗学Ⅱ H231-183-02	現代日本の生業と民間信仰を映像資料で提示して日本民俗学の研究法と現代的課題について理解を深める。	現代の日本各地の生業と民間信仰の実態を理解できる。現代民俗学的研究の意欲と地域の民俗文化財への関心を持てる。	◎	○	◎	○	
日本の思想Ⅰ H231-114-01	仏教・キリスト教・神道などの諸宗教との関係に注意しながら、日本の近代思想史の流れを理解する。	近代日本思想および諸宗教に関する基本的知識を習得する。思想を分析する際の視座と作法を習得する。現代社会の問題として思想を考える知的態度を身に付けることができる。	○	◎	○	○	
日本の思想Ⅱ H231-114-02	近代日本史の転機となった反乱・暴動・テロ・革命・戦争など暴力と結びついた諸事件を取り上げ、それらを理由づけた思想の流れをみる。	近代日本思想に関する知識を得る。思想を分析する際の視座と作法を習得できる。現代社会の問題として思想を考える知的態度を身に付けることができる。	○	◎	○	○	
中国の思想Ⅰ H231-114-03	儒教を中心とする伝統中国の政治思想を講義する。	中国思想の本質を理解できる。	△	○	○	◎	
中国の思想Ⅱ H231-114-04	中国における民間信仰を基礎とする道教について概説する。	道教の基礎的概念を理解できる。	△	○	○	◎	
東アジア史Ⅰ H231-163-01	人物から見た朝鮮半島の歴史を講義する。	朝鮮半島の歴史に関する基礎知識が身につく。	△	○	◎	◎	
東アジア史Ⅱ H231-163-02	朝鮮の歴史を作った人物の業績を通じて朝鮮史全般を概観する。	朝鮮の各時代の人物を通じて朝鮮半島の歴史全般を理解できる。	△	○	◎	◎	
アジア諸国史 H331-163-03	東南アジア世界の特異性と普遍性について講義する。	東南アジア諸国家を歴史的背景から分類することができる。中国文明とインド文明の影響を指摘できる。	△	○	◎	○	
西洋の思想Ⅰ H231-114-05	古代ギリシアから中世に至るまでの、西洋哲学の歴史を概観する。	古代から中世までの西洋哲学の基本的な歴史を一つの問題史として理解できる。	△	○		◎	
西洋の思想Ⅱ H231-114-06	19世紀以降の西洋哲学の歴史を概観し、現象学・実存主義・生の哲学・マルクス主義などを取り上げる。	現代哲学の学説・立場の多様性と問題意識の共通性を理解する。自分の意見・立場を批判的に形成できる。	△	○	○	◎	

文学部歴史学科 カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー（DP）				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			① 文献・資料 の分析・活用法 の修得	② 論理的思考 の訓練	③ 現代の問題へ のアプローチ	④ 世界史的・ 多角的な視野と 人間力の育成	⑤ 学術的な卒 業論文の作成
美術の歴史Ⅰ H231-116-01	日本の縄文・弥生・古墳時代の主要な出土品と飛鳥時代の仏教美術の諸作品について学ぶ。	博物館や美術館を訪れ、自ら学ぶ意欲を持つようになる。また遺跡の発掘に携わる意欲が高まる。	◎		○	○	
美術の歴史Ⅱ H231-116-02	視覚教材を使用して、古代の仏教美術や、絵巻物・水墨画・障壁画・風俗画、江戸時代の浮世絵について学ぶ。	各地に散在する古刹や絵巻物や浮世絵などの特別展に出かける意欲が高まり、理解を深めることができる。	◎		○	○	
西洋古典の文化 (ラテン語)Ⅰ H231-165-01	ラテン語の文法の初歩を学ぶ授業。名詞・形容詞・動詞などの基本を学ぶ。	簡単なラテン語を理解できる。ヨーロッパ言語へのラテン語の影響を理解できる。	◎			○	
西洋古典の文化 (ラテン語)Ⅱ H231-165-02	ラテン語が使用されていた古代・中世の西ヨーロッパの状況について学ぶ。	ラテン語とラテン文学が現代言語に及ぼす影響について理解できる。	◎			○	
地域考古学Ⅰ H231-166-01	渥美・知多半島の縄文貝塚、濃尾平野の弥生集落、断夫山古墳に代表される巨大古墳などについて学習する。	東海地域における旧石器時代から古代にかけての考古学研究の現状・課題が理解できるようになる。	○	○	○		
地域考古学Ⅱ H231-166-02	東海地域における各時代の窯業地、および山岳寺院・中世墓・城館跡出土の陶磁器について学習する。	東海地域における陶磁器生産の歴史と中世・近世の考古学研究の現状・課題が理解できるようになる。	○	○	○		
西欧文明史Ⅰ H331-165-03	西欧の文明に関する専門的な事項を講義する。	西欧文明に関する専門的な知識を身につける。			○	◎	
西欧文明史Ⅱ H331-165-04	西欧の文明に関する専門的な事項を講義する。	西欧文明に関する専門的な知識を身につける。			○	◎	
欧米諸国史Ⅰ H331-165-05	20世紀アメリカ外交の特徴を主に冷戦史、ヴェトナム戦争などを中心に講義する。	アメリカ外交の特質を学ぶことでアメリカが築き上げた現代世界に対する理解力を高めることができる。			◎	◎	
欧米諸国史Ⅱ H331-165-06	20世紀アメリカ外交の特徴を主に冷戦史、ヴェトナム戦争などを中心に講義する。	アメリカ外交の特質を学ぶことでアメリカが築き上げた現代世界に対する理解力を高めることができる。			◎	◎	
考古学基礎野外 演習A H233-166-27	夏季考古学実習に備えて、機器の扱い方と遺跡での実習発掘を体験する。	夏季発掘実習の作業を通して発掘調査法を習得することができる。	◎	○	○	○	
考古学基礎野外 演習B H233-166-28	レベル・平板・トランシットなど測量機材の使用方法を学習する。夏休み中に発掘調査を体験する。	歴史考古学の発掘調査における基礎的な調査技術が習得できる。	◎	○	○	○	
考古学専門野外 演習A H333-166-29	遺物の実測や遺構の図面整理作業を経験させ、夏季には実習発掘を主体的に実施させる。	出土品整理の各種作業を経験し、あわせて実習発掘を主体的に習得することができる。	◎	○	○	○	
考古学専門野外 演習B H333-166-30	トランシットによる遺構の割付や遺構の実測方法を学習する。夏休み中に発掘調査を体験する。	歴史考古学の発掘調査におけるより専門的な調査技術を習得できる。	◎	○	○	○	
海外の考古学Ⅰ H331-166-01	古代エジプトおよび中国歴代王朝の墓の紹介を通じて、その死生観について学習する。	世界史的な視野から人類にとって「生」とは何か理解できるようになる。	○	○	○	◎	
海外の考古学Ⅱ H331-166-02	朝鮮半島における三国時代（高句麗・百済・新羅）の墓および副葬品について学習する。	朝鮮半島における古代国家の特色ある文化、およびその相互交流が理解できるようになる。	○	○	○	◎	

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部歴史学科 自由選択科目カリキュラムマップ			文学部歴史学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4		DP5	
			文献・資料の分析力・活用能力		論理的思考力		現代的問題へのアプローチ		世界的・多角的な視野と人間性		学術的な卒業論文	
			文献や史料・資料から情報を収集し解釈して、専門的な歴史研究や展示等に活用できる。	文献や資料の保存に努めることができ、資料を検討することができる。	設定した課題について多様な学説や資料を論理的にまとめることができる。	設定した課題について自分の考えを論理的にまとめることができる。	現代社会の諸問題を歴史学の知識や方法を活用して理解することができる。	現代社会の諸問題の解決をはかることができる。	世界的・多角的な視野により、時間・空間を異とする地域を考察することができる。	時間・空間を異とする地域について人間の共感をもつて理解することができる。	学術的な内容と形式に加え、本学科の定める要件を充足した卒業論文を組み立て、叙述できる。	口頭試問や発表会等においてプレゼンテーションを行い、他者に研究成果を伝えることができる。
キャリア・デザイン Q131-861-01	自分自身の将来・進路を考えるうえで必要なステップを、講義・演習を踏まえて体験し、自分に何が必要なのか、今後何をすべきかを、明確にする。就職活動の実践についての情報提供を行いながら、最終的には自分の特徴・強みや、目標などを表現できるようになることをねらいとする。	進路選択に向けて、これから何をすべきか、自分なりの行動計画を立案できる。就職活動時にも必要となる自己表現を、自信をもって行えるようになる。社会で必要とされる力をチェックし、自分の力を伸ばす行動につなげられる。業界・企業について、具体的に情報収集・比較し、進路の検討を始められる。チームで動く際に必要なコミュニケーション力を何度も試し、自信をもてる。	○		○	○		○		○	○	◎
インターンシップ Q238-861-02	企業や公的機関が実施するインターンシップに参加することにより、学生時代のアルバイト経験とは異なる仕事・活動を体験し、業種・業界知識や職場・職種の詳細を得て、就業意欲を高める。	社会における社員レベルでの現実的な就業を体験し、就業への準備ができる。就職活動時に実際の体験や知識を生かしスムーズな就業活動ができる。一連のインターンシップの活動を通じて社会人としての行動をとることができる。					○	◎	○	◎		○
地域連携学A Q231-861-05	産業界や行政のみでは対応できない問題に、市民セクターがどのような取り組みをしているかを、社会課題の解決に果敢に挑戦する実務者を講師として学ぶ。7つのテーマ「防災、子育て、教育、障がい、高齢化、国際、環境」から、それぞれ何が問題であり課題なのかを一緒に考える。	第1に社会課題とその課題解決の方法・実践を学び生活者としての視野を広げ、自分もできる事を考えられるようになる。第2に講師との対話やグループでのディスカッションを通してコミュニケーション能力の向上を得ることができる。	○		○	○	○	◎	○	◎		◎
地域連携学C Q132-261-01	東日本大震災による津波被害と放射線被害を受けた福島県伊達郡川俣町の山木屋に赴き、山木屋をまるごと体験することや地域の方々との交流を通して復興の現状と力強く生きていくことの意味を実感する。	夏季休暇中の3泊4日の宿泊研修によるフィールドワークで、教室での学びでは得られない経験ができ、文字とおりの「生きる力」への気づきなど、様々な成長が期待できる。被災地の現状についても実感することができる。					○	◎	○	◎		
地域連携学D Q132-861-10	人口減少と少子高齢化が進む過疎化地域の北海道厚沢部町が、大学と連携し、アウトキャンパス事業を始めた。この事業に参加する学生が、厚沢部ファンの獲得を目指した活動を考え実践する。	地域課題を調べ解決に寄与するアイデアを提案できる。提案したアイデアの実践に向けて活動できる。	○		○	○	○	◎	○	◎		

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部英語英米文化学科カリキュラムマップ

文学部英語英米文化学科の教育目標			文学部英語英米文化学科のディプロマポリシー（DP）							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4	
			歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化する世界に対応できる能力を身につけている。		英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。		英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識および視野を有し、多様な価値観を理解することができる。		獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決にむけて建設的に取り組むことができる。	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			国際教養に関する知識	グローバル社会に対応できる能力	英語4技能(読む・書く・聞く・話す力)	プレゼンテーション(発表力)	異文化理解力	情報リテラシー・批判的読解力	論理的思考力・表現力	主体的取り組み・他者との協働
Culture through English Ia K114-141-01	英語圏の身近な話題(食べ物や音楽など)について学び、リサーチやプレゼンテーションを行う。	英語圏の身近な文化について理解し、発信する力を身につけることができる。	○		◎	◎	◎		○	○
Culture through English Ib K114-141-02	英語圏の身近な話題(スポーツやフェスティバルなど)について学び、リサーチやプレゼンテーションを行う。	英語圏の身近な文化について理解を深め、発信する力を向上させることができる。	○		◎	◎	◎		○	○
Culture through English IIa K214-141-03	英語圏の歴史や文化(移民や宗教など)について学び、リサーチやプレゼンテーションを行う。	英語圏のより複雑な文化について理解し、発信する力を身につけることができる。	○		◎	◎	◎		○	○
Culture through English IIb K214-141-04	英語圏の歴史や文化(産業や科学技術の変化など)について学び、リサーチやプレゼンテーションを行う。	英語圏のより複雑な文化について理解を深め、発信する力を向上させることができる。	○		◎	◎	◎		○	○
Japanese Culture through English a K314-141-05	日本の文化(食べ物や住居など)を英語を通じて学ぶ。	身近な日本文化について理解し、発信する力を身につけることができる。	○		◎	◎	◎		○	○
Japanese Culture through English b K314-141-06	日本の文化(マンガやアニメーションなど)を英語を通じて学ぶ。	より複雑な日本文化について理解し、発信する力を身につけることができる。	○		◎	◎	◎		○	○
Oral Communication Ia K114-141-07	身近な話題(自己紹介、家族、出身地、学生生活)について短い会話ををする。	身近な話題について短い会話をすることができる。			◎	◎				○
Oral Communication Ib K114-141-08	身近な話題(食べ物、音楽、スポーツ、休暇・フェスティバル)について短い会話ををする。	身近な話題について長い会話をすることができる。			◎	◎				○
Oral Communication IIa K214-141-09	さまざまな写真について英語で描写する。	英語で事物を描写する際に必要な流暢さと言語を身につけることができる。			◎	◎				○
Oral Communication IIb K214-141-10	ピクチャーストーリーを英語で描写する。	物語を語る際に必要な流暢さと言語を身につけることができる。			◎	◎				○
English for TOEIC Ia K114-144-01	TOEICの出題形式を理解し、受験に向けての準備を行う。	TOEIC形式の問題に慣れることで、TOEICの各パートそれぞれの特徴を把握することができる。			◎					
English for TOEIC Ib K114-144-02	TOEICの出題形式に慣れ、各パートごとの特徴をつかむことでスコアアップにつなげる。	TOEIC形式の問題を解きながら、TOEICの各パートにおける頻出の英語表現を確認し、苦手なパートを克服することができる。			◎					
English for TOEIC IIa K214-144-03	基礎的な英語運用能力の確認と、TOEICテストのスコアアップを目指した実践練習を行う。	TOEICの各パートで求められる英語力を養いながら、英語運用能力とビジネスに関する知識を総合的に向上させることができる。			◎					
English for TOEIC IIb K214-144-04	TOEICテストのスコアアップを目指した実践練習を行いながら、総合的な英語運用能力を育成する。	多くの練習問題を解くことでTOEICの各パートにおける苦手な部分を認識し、英語運用能力とビジネスに関する知識を総合的に向上させることができる。			◎					
Reading Ia K214-141-11	簡単な英語で書かれた本を複数読み、内容について英語で発表する。	英語の多読を通して大意をつかむ力と語彙力を身につけることができる。			◎			○		
Reading Ib K214-141-12	簡単な英語で書かれた本を早く、日本語に訳さずに読み、内容について英語で発表する。	英語の多読と発表を通して英語での発信力を身につけることができる。			◎			○		

文学部英語英米文化学科 カリキュラムマップ			文学部英語英米文化学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4	
			歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化する世界に対応できる能力を身につけている。		英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。		英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識と視野を有し、多様な価値観を理解することができる。		獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決に向けて建設的に取り組むことができる。	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			国際教養に関する知識	グローバル社会に対応できる能力	英語4技能(読む・書く・話す能力)	プレゼンテーション(発表)力	異文化理解力	情報リテラシー・批判的読解力	論理的思考力・表現力	主体的取り組み・他者との協働
Reading IIa K314-141-13	英語圏のさまざまな文化に関する英文を精読する。春学期はその国々の都市や人々の生活についての英文を取り上げる。	英語の基本的な文法や構文を正確に把握しながら読む力を身につけることができる。			◎		○	○		
Reading IIb K314-141-14	英語圏のさまざまな文化に関する英文を精読する。秋学期はグローバルな視点を取り入れた英文を取り上げる。	英語の基本的な文法や構文、パラグラフの構造を正確に把握しながら読む力を身につけることができる。			◎		○	○		
Writing I a K214-141-15	手紙やEメールなど、言いたいことが伝わるような英文を書く。	英語の基本的な文法や構文などを理解し、理解可能なセンテンスを書く力を身につけることができる。			◎				○	
Writing I b K214-141-16	模範的なセンテンスやパラグラフを読み、自分で書く。	英語の基本的な文法や構文などを理解し、理解可能なセンテンスやパラグラフを書く力を身につけることができる。			◎				○	
Writing IIa K314-141-17	さまざまな英語表現や文章構成を学び、パラグラフやエッセイを書く。	英語で書かれたパラグラフの構造を理解し、書く力を身につけることができる。			◎		○		○	
Writing IIb K314-141-18	さまざまな英語表現や文章構成を学び、よりアカデミックなテーマについてパラグラフやエッセイを書く。	リサーチペーパーを含めた学術的な文章を書く力を身につけることができる。			◎		○		○	
English Camp K132-852-01	ネイティブスピーカーとの合宿により、英語の発信力を身につける。	英語のネイティブスピーカーと自由にコミュニケーションをとることができる。			◎	○				○
English for TOEICⅢa K334-144-05	TOEICの各パートごとに頻出されるテーマを中心に、総合的な演習を行う。	各パートごとにTOEIC対策を重点的に行うことで、スコアアップにつなげることができる。			◎					
English for TOEICⅢb K334-144-06	TOEICのスコアアップを目指すとともに、総合的な英語運用能力を身につける。	TOEIC対策を中心に行いながら、総合的な英語運用能力を身につけることができる。			◎					
TOEFL I K134-144-07	TOEFLの出題形式を理解し、受験に向けての準備を行う。	TOEFL IBTの構成と傾向を理解し、英語4技能を伸ばすことができる。			◎					
TOEFL II K234-144-08	TOEFLテストの高いスコアの獲得を目指したTOEFL対策の演習を行う。	留学先で講義を受けるときに必要なアカデミックな英語運用能力を育成することができる。			◎					
TOEFLⅢ K334-144-09	TOEFLテストのより高いスコアの獲得を目指したTOEFL対策の演習を行う。	留学先で講義を受けるときに必要なアカデミックな英語運用能力を向上させることができる。			◎					
Power-Up English I K234-141-19	英語学習法および、大学での英語学習に必要な基礎英語力を身につける。	大学で必要となる英語の基礎力と学習方法を習得することができる。	○	○	◎	○			○	○
Power-Up English II K334-141-20	英語学習のために必要な基礎文法力と語彙力を身につける。	英語の基礎文法力と語彙力を習得することができる。	○		◎		○		○	○
Power-Up English III K334-141-21	TOEICのスコアアップのための総合的英語力を身につける。	リスニング・リーディング・文法・語彙力など、英語の基礎力を習得することができる。			◎	○		○		
English through Movies K234-141-22	映画や音楽などのメディアを通じて英語を学ぶ。	英語の基礎力を身につけることができる。			○		○			
Business English K234-141-23	ビジネス英語を学ぶ。	英語の基礎力およびビジネス英語を身につけることができる。			○		○			
Online Communication in English K234-141-24	ICTを活用して実践的な英語運用能力を身につける。また、国際協働学習を通して、異文化コミュニケーション能力を養う。	異文化に暮らす人々との双方向コミュニケーションを通して、英語コミュニケーション能力を向上させ、多様な価値観や文化に対する寛容な態度を培うことができる。		○	◎	◎	◎	○	○	◎

文学部英語英米文化学科 カリキュラムマップ			文学部英語英米文化学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4	
			歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化する世界に対応できる能力を身につけている。		英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。		英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識と多様な価値観を理解することができる。		獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決にむけて建設的に取り組むことができる。	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			国際教養に関する知識	グローバル社会に対応できる能力	英語4技能(読む・書く・話す・聞く能力)	プレゼンテーション(発表)	異文化理解力	情報リテラシー・批判的読解力	論理的思考力・表現力	主体的取り組み・他者との協働
Reading Fiction in English K134-141-25	英語で書かれた詩や短編小説を読み、考察や音読を行い、簡単な批評を書く。	英語の語彙、文法、発音、およびリーディング・スキルを習得し、文学の形式や技法を理解することができる。			◎					
Current Affairs K134-141-26	さまざまな分野の時事問題を英語で学ぶ。	英語で国際的な時事問題に関して学び、英語の語彙、リーディング・スキル、リスニング・スキルを身につけ、プレゼンテーション力を向上させることができる。	◎	○	◎	◎	◎			
Historical Affairs K234-141-27	さまざまな分野の歴史的出来事や人物について英語で学ぶ。	英語で歴史を学び、英語の語彙、リーディング・スキル、リスニング・スキル身につけ、プレゼンテーション力を向上させることができる。	◎		◎	◎	◎			
Introduction to Living Overseas K334-141-28	海外で留学や生活をする際に直面するかもしれないさまざまな問題について、英語で学び、解決方法について考える。	海外で留学や生活をする際に必要となる知識とスキルを身につけるとともに、異文化への理解力を養うことができる。		◎	○		◎			
Study Tour I K132-852-02	英語を使いつつ米国の多様性を体験し、帰国後、学修の成果を発表する。	米国での体験を通して、自ら発見し、その考えを発信する力を習得することができる。	◎	◎	◎	◎	◎		○	◎
Study Tour II K132-852-03	イギリスへの研修に関する事前学習を行い、研修成果を報告する。	イギリスでの体験学習を通して多様な文化を学び、学習成果について発信する力を養う。	◎	◎	◎	◎	◎		○	◎
Study Tour III K132-852-04	アジア英語圏へのスタディツアーに対する事前学習を行う。	現地文化の基礎知識を得て、自文化を英語で発信する力を養う。	○	◎	◎	◎	◎	○		◎
キャリアデザインa K232-861-01	実務家教員による英語を使う職業に直結するような体験実習を行う。	英語を使う職業に必要なさまざまなスキルを身につけることができる。		○				○		◎
キャリアデザインb K232-861-02	実務家教員による英語を使う職業に直結するような体験実習を行う。	英語を使う職業に必要なさまざまなスキルを向上させることができる。		○				○		◎
英語学概論 a K231-138-01	この授業では、グローバル社会での英語の活躍など英語についての知識を深める。	英語の役割、起源、英語と社会の関わりなどについて知識を深めることができる。	○	○			◎		◎	○
英語学概論 b K231-138-02	この授業では、英語の発音や新語の作られ方、文の構造など、英語学の基本について学ぶ。	英語学の基本概念そして英語の本質についての理解を深めることができる。	○	○			◎		◎	○
日英語比較 a K231-138-03	日英両語を比較分析し、それぞれの言語の違いや背景文化について学ぶ。	日英両語に関して、言語的及び文化的見地から比較考察し、理解を深めることができる。	○				◎		◎	○
日英語比較 b K231-138-04	認知言語学や応用言語学等の見地から日英両語を理解し、それぞれの相違点について学ぶ	日英両語について、認知言語学や応用言語学等の見地から比較考察し、両語に関する理解を深めることができる。	○				◎		◎	○
英語の歴史 a K231-138-05	英語の成立から国際語にいたるまでの英語の発達史を概説する。	英語の発達史について理解することができる。	○	○			◎		◎	○
英語の歴史 b K231-138-06	現代英語の顕著な特徴を歴史的な観点から解明する。	英語の発達史を通じて、英語の理解を深めることができる。	○	○			◎		◎	○
アメリカ文化研究 I a K231-802-01	19世紀末までのアメリカの社会史を、アフリカ系という「マイノリティ」の視点からみる。	日英両語による多様な文献・映像資料を読み解きながら、アメリカ社会の多面性を理解し、自分の意見を持つことができる。	◎	○			◎	○	◎	○
アメリカ文化研究 I b K231-802-02	20世紀末までのアメリカの社会史を、アメリカ先住民という「マイノリティ」の視点からみる。	日英両語による多様な文献・映像資料を読み解きながら、アメリカ社会の多面性を理解し、自分の意見を持つことができる。	◎	○			◎	○	◎	○
アメリカ文化研究 II a K231-802-03	20世紀初頭の文学作品と映画を教材にアメリカ社会と文化の関係を考える。	「常識」が、社会の価値観との関係で変化することを理解することができる。	◎		○		◎	○	○	

文学部英語英米文化学科 カリキュラムマップ			文学部英語英米文化学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4	
			歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化する世界に対応できる能力を身につけている。		英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。		英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識と視野を有し、多様な価値観を理解することができる。		獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決に向けて建設的に取り組むことができる。	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			国際教養に関する知識	グローバル社会に対応できる能力	英語4技能(読む・書く・話す・聴く・話す能力)	プレゼンテーション(発表)	異文化理解力	情報リテラシー・批判的読解力	論理的思考力・表現力	主体的取り組み・他者との協働
アメリカ文化研究Ⅱb K231-802-04	20世紀初頭から現代までのアメリカ社会史を、アフリカ系の視点を通して多様な資料や映画を使って理解する。	日英両語による多様な文献・映像資料を読み解きながら、アメリカ社会の多面性を理解し、自分の意見を持つことができる。	◎	○			◎	○	◎	○
アメリカ文学研究 a K231-133-01	植民地時代から18世紀までのアメリカ文学の主要な作品について概説する。	文学作品の読み方と文学と社会との関係について、理解を深めることができる。	◎		○		◎	○	○	
アメリカ文学研究 b K231-133-02	19世紀初めから19世紀末までのアメリカ文学の主要な作品について概説する。	文学作品の読み方と文学と社会との関係について、理解を深めることができる。	◎		○		◎	○	○	
イギリス文化研究Ⅰa K231-803-01	イギリスの地理、社会、政治、人々の暮らしに焦点を当て、イギリス文化を英語ということばの観点から考察する。	資料を読むことによって、イギリス社会への理解を深めることができる。	○		○		◎	○	◎	
イギリス文化研究Ⅰb K231-803-02	イギリスの建築、景観、デザインを通して、近現代イギリス文化を考察する。	建築やデザイン等の視覚的芸術文化に焦点を当て、イギリス文化についてより理解を深めることができる。	○		○		◎	○	◎	
イギリス文化研究Ⅱa K231-803-03	イギリスの文化や社会制度について基本的項目を理解する。	英語ドキュメンタリー等を通して、イギリス文化を多角的に捉える力を身につけることができる。	○		○		◎	○	◎	
イギリス文化研究Ⅱb K231-803-04	イギリスの教育や経済について基本的項目を理解する。	資料を読むことによって、イギリスの教育や経済について理解を深めることができる。	○		○		◎	○	◎	
イギリス文学研究 a K231-133-03	最古のイギリス文学と言われている『ベオウルフ』から19世紀までのイギリス文学の主要作品を概説する。	19世紀までのイギリス文学を通して、歴史・社会・文化への理解を深めることができる。	◎		○		◎	○	○	
イギリス文学研究 b K231-133-04	19世紀から現代までのイギリス文学の主要作品を概説する。	19世紀から現代までのイギリス文学を通して、歴史・社会・文化への理解を深めることができる。	◎		○		◎	○	○	
アジア・オセアニア文化研究Ⅰa K231-804-01	世界遺産から、オーストラリアの自然と文化を多面的に考察する。	英語素材で、観光の背景にある自然、人、文化、歴史を理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	◎	○	
アジア・オセアニア文化研究Ⅰb K231-804-02	国際関係という視点で、オーストラリアの役割と課題を多面的に考察する。	データや歴史資料を読み解き、オーストラリアを歴史・政治・経済などから多面的に理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	○	◎	
アジア・オセアニア文化研究Ⅱa K231-804-03	インドの社会と文化について、宗教思想を背景にした文化伝統の基本を理解したうえで、現代社会の発展と課題の問題を考察する。	現代社会が抱える問題と伝統的な価値観が深く結びついていることを理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	○	○	
アジア・オセアニア文化研究Ⅱb K231-804-04	マレーシア・シンガポールの社会と文化について、両国の比較をしながら、それぞれの特徴を理解する。	両国を比較しながら、顕著な違いについてその要因を分析考察することで、それぞれの国の発展形態の特色や課題を明確に理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	○	◎	
国際研究Ⅰa K231-223-01	国際問題を考える上で必要な知識を習得することで、国際問題の利害関係を見る眼を養う。	グローバル時代の国際関係を理解する上で必要な基礎知識を習得できる。	◎	◎		○		◎	◎	
国際研究Ⅰb K231-223-02	人類共通の課題をテーマとし、身近な問題から広く世界(社会)に関わることで、課題の理解と解決のための意欲や態度を育む。	コミュニケーション力、場作りや進行のファシリテーション力、プレゼンテーション力を身につけることができる。	◎	◎		◎		◎	◎	◎
国際研究Ⅱa K231-223-03	個人が社会に組み込まれている隠れたパターン発見のための調査の設計と実施を行う。	予想と実際のズレの生じる有意確率と一様性による仮説検定力を習得できる。	○	◎		◎		◎	◎	

文学部英語英米文化学科 カリキュラムマップ			文学部英語英米文化学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4	
			歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化する世界に対応できる能力を身につけている。		英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。		英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識および視野を有し、多様な価値観を理解することができる。		獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決にむけて建設的に取り組むことができる。	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			国際教養に関する知識	グローバル社会に対応できる能力	英語4技能(読む・書く・話す・聴く・話す能力)	プレゼンテーション(発表)	異文化理解能力	情報リテラシー・批判的読解力	論理的思考力・表現力	主体的取り組み・他者との協働
国際研究Ⅱb K231-223-04	参与観察とインタビューの技法を実践する。	現地調査に必要な準備、実際の調査、調査結果のまとめ方を習得できる。	○	○	○	○	◎	○		
比較文化論 K231-801-01	グローバル化する世界に対応するため、国や民族ごとに異なる文化を比較する。	異文化を理解すると同時に、自国の文化への理解を深め、相互に理解し合えるような基盤づくりを行うことができる。	○	○			◎			○
大衆文化論 K231-801-02	ミュージカルを教材に、時代の価値観と作品の受容の関係について考える。	作品内容と時代の価値観の変遷が密接な関係にあることを認識できるようになる。	◎		○		◎	○	○	
英語研究特講Ⅰa K331-138-07	日常生活におけるコミュニケーションのメカニズムについて学ぶ。	人間のコミュニケーションのあり方と仕組みについて深く理解することができる。	○				◎		◎	○
英語研究特講Ⅰb K331-138-08	社会における言語のヴァリエーションとそれが果たす役割について学ぶ。	コミュニケーションを超えた言語の社会的役割を理解することができる。	○	○			◎		◎	○
英語研究特講Ⅱa K331-138-09	英語と日本語の相違点等に関する具体例を挙げながら、異文化の中での基礎的な対人コミュニケーションに関する理解を深める。	言語や文化の異なる相手とのコミュニケーションについて、基礎的な知識を習得することができる。		○			◎	○	◎	
英語研究特講Ⅱb K331-138-10	言語や文化の違いにより生じる様々な異文化コミュニケーションについて、言語および非言語の観点から考察する。	言語や文化の異なる相手とのコミュニケーションに関わる様々な課題について理解を深め、自分なりの見解を示すことができる。		○			◎	○	◎	
アメリカ文化特講Ⅰa K331-802-05	アジア系移民や先住ハワイ人の歴史を通して、多エスニック・多文化社会ハワイにおける「共生」の意味を探る。	観光業によって作られた「楽園ハワイ」イメージの裏側を知り、異文化理解と多様な価値観の重要性を理解することができる。	◎	◎			◎	◎	◎	○
アメリカ文化特講Ⅰb K331-802-06	アジアからの移民とその子孫の経験を学び、多エスニック社会における「共生」の重要性を考える。	日英両語による多様な文献・映像資料を読み解きながら、アメリカ社会の多面性を理解し、自分の意見を持つことができる。	◎	◎			◎	◎	◎	○
アメリカ文化特講Ⅱa K331-802-07	異人種間結婚(白黄)を扱ったアメリカ文学・映画を人種とジェンダーの観点から検討する。	文学・映画が時代と社会の価値観と密接な関係にあることを理解することができる。					◎	○	○	
アメリカ文化特講Ⅱb K331-802-08	女性を主人公とするアメリカ文学・映画を人種とジェンダーの観点から検討する。	文学・映画が時代と社会の価値観と密接な関係にあることを理解することができる。	◎		○		◎	○	○	
イギリス文化特講Ⅰa K231-803-05	19世紀から現在までのイギリス都市文化について、基本項目を理解する。	都市研究の基礎を身につけることができる。	○		○		◎	○	◎	
イギリス文化特講Ⅰb K231-803-06	現在のイギリスの都市について、ロンドンを中心に景観という観点から考察する。	ケーススタディーを通して、イギリス都市への理解を深めることができる。	○		○		◎	○	◎	
イギリス文化特講Ⅱa K331-803-07	19世紀のイギリス文学作品を翻案映画と比較しながら考察する。	19世紀のイギリス文学作品とその背景となる歴史・社会・文化への理解を深めることができる。	◎		◎		◎	○	○	
イギリス文化特講Ⅱb K331-803-08	20世紀のイギリス文学作品を翻案映画と比較しながら考察する。	20世紀のイギリス文学作品とその背景となる歴史・社会・文化への理解を深めることができる。	◎		◎		◎	○	○	
アジア・オセアニア文化特講Ⅰa K331-804-05	日本と東南アジア諸国の交流について、現在から過去に遡って考察する。	歴史をふまえて現代社会の問題を捉えることで、解決策についての展望を得ることができる。	◎	◎	○	○	○	◎	◎	
アジア・オセアニア文化特講Ⅰb K331-804-06	オセアニア地域の民族や社会の特色や問題について、映画から読み解き考察する。	映画に散りばめられた伝統文化、民族間の摩擦、マイノリティー社会が抱える問題などを、課題発見型の学習によって読み解き、理解を深めることができる。	◎	○	○	◎	◎	○	◎	

文学部英語英米文化学科 カリキュラムマップ			文学部英語英米文化学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4	
			歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化できる能力を身につけている。		英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。		英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識および視野を有し、多様な価値観を理解することができる。		獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決にむけて建設的に取り組むことができる。	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			国際教養に関する知識	グローバル社会に対応できる能力	英語4技能(読む・書く・聞く・話す能力)	プレゼンテーション(発表)	異文化理解力	情報リテラシー・批判的読解力	論理的思考力・表現力	主体的取り組み・他者との協働
国際研究特講Ⅰa K331-223-05	国際社会において小国がどのように自国の利益を追求しているのか考察する。	国際関係を構造的に捉え、各国の政策を多角的に理解することができる。	◎	○	○	○	○	◎	◎	
国際研究特講Ⅰb K331-223-06	グローバルな課題に対して各国が協力するためにどのような枠組みがあるかを学ぶ。	歴史をふまえてグローバルな課題の要因を構造的に理解することができる。	◎	◎	○	◎		◎	◎	
国際研究特講Ⅱa K331-223-07	国際関係における文化が果たす役割について考察する。	国際政治と国内政治の違いを捉え、国際関係における文化の役割を理解することができる。	○	◎		○	◎	○	○	
国際研究特講Ⅱb K331-223-08	国際社会において日本を取り巻く課題とその解決策について考察する。	国際社会における日本の現状を捉え、その改善策について自分の意見を発信することができる。	◎	◎		◎		◎	○	◎
基礎演習Ⅰ K112-842-01	大学での学修に必要な基礎的なアカデミックスキルを学ぶ。	レポート・論文の書き方、文献検索、プレゼンテーションなどの基礎的なアカデミックスキルを習得し、大学での学修に生かすことができる。	◎	○		○	◎	◎	◎	◎
基礎演習Ⅱ K212-842-02	大学での学修に必要なアカデミックスキルを深め、3年ゼミへの準備をする。	レポート・論文の書き方、文献検索、プレゼンテーションなどの基礎的なアカデミックスキルを習得し、大学での学修に主体的に生かすことができる。	◎	○		○	◎	◎	◎	◎
英米文化演習a K312-842-03	卒業論文の研究テーマを決め、卒業論文執筆のための研究・調査を行う。	卒業論文の研究テーマを設定し、研究・調査を進めることができる。	◎	○		○	◎	◎	◎	◎
英米文化演習b K312-842-04	春学期に決めたテーマにそって調査を進め、研究成果をレポートにまとめて発表する。	卒業論文に向けて研究・調査を進めることができる。	◎	○		○	◎	◎	◎	◎
総合演習a K412-842-05	3年次で行った研究・調査を継続し、卒業論文の完成に向けて、進める。	卒業論文を執筆し、完成に導くことができる。	◎	○		○	◎	◎	◎	◎
総合演習b K412-842-06	2年間のゼミの研究成果を卒業論文にまとめる。	卒業論文を完成することができる。	◎	○		○	◎	◎	◎	◎
卒業論文 K416-845-01	卒業論文を執筆するための指導を行う。	卒業論文を執筆し、完成に導くことができる。	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部英語英米文化学科 自由選択科目カリキュラムマップ			文学部英語英米文化学科のディプロマポリシー（DP）							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2		DP3		DP4	
			歴史、政治、社会、国際関係に関する幅広い知識と教養を有し、変化する世界に対応できる能力を身につけている。		英語圏の人々と自由にコミュニケーションができる英語運用能力を身につけている。		英語圏の人々の言語・文化的背景に対する深い知識および視野を有し、多様な価値観を理解することができる。		獲得した知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題解決にむけて建設的に取り組むことができる。	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			国際教養に関する知識	グローバル社会に対応できる能力	英語4技能（読む・書く・話す力）	プレゼンテーション（発表）力	異文化理解力	情報リテラシー・批判的読解力	論理的思考力・表現力	主体的取り組み・他者との協働
キャリアデザイン Q131-861-01	自分自身の将来・進路を考えるうえで必要なステップを、講義・演習を踏まえて体験し、自分に何が必要なのか、今後何をすべきかを、明確にする。就職活動の実際についての情報提供を行いながら、最終的には自分の特徴・強みや、目標などを表現できるようになることをねらいとする。	進路選択に向けて、これから何をすべきか、自分なりの行動計画を立案できる。就職活動時にも必要となる自己表現を、自信をもって行えるようになる。社会で必要とされる力をチェックし、自分の力を伸ばす行動につなげられる。業界・企業について、具体的に情報収集・比較し、進路の検討を始められる。チームで動く際に必要なコミュニケーション力を何度も試し、自信をもてる。							△	△
インターンシップ Q238-861-02	企業や公的機関が実施するインターンシップに参加することにより、学生時代のアルバイト経験とは異なる仕事・活動を体験し、業種・業界知識や職場・職種の知識を得て、就業意欲を高める。	社会における社員レベルでの現実的な就業を体験し、就業への準備ができる。就職活動時に実際の体験や知識を生かしてスムーズな就業活動ができる。一連のインターンシップの活動を通じて社会人としての行動をとることができる。							△	○
地域連携学A Q231-861-05	産業界や行政のみでは対応できない問題に、市民セクターがどのような取り組みをしているかを、社会課題の解決に果敢に挑戦する実務者を講師として学ぶ。7つのテーマ「防災、子育て、教育、障がい、高齢化、国際、環境」から、それぞれ何が問題であり課題なのかを一緒に考える。	第1に社会課題とその課題解決の方法・実践を学び生活者としての視野を広げ、自分もできる事を考えられるようになる。第2に講師との対話やグループでのディスカッションを通してコミュニケーション能力の向上を得ることができる。					○			○
地域連携学C Q132-261-01	東日本大震災による津波被害と放射線被害をうけた福島県伊達郡川俣町の山木屋に赴き、山木屋をまるごと体験することや地域の方々との交流を通して復興の現状と力強く生きていくことの意味を実感する。	夏季休暇中の3泊4日の宿泊研修によるフィールドワークで、教室での学びでは得られない経験ができ、文字どおりの「生きる力」への気づきなど、様々な成長が期待できる。被災地の現状についても実感することができる。								△
地域連携学D Q132-861-10	人口減少と少子高齢化が進む過疎化地域の北海道厚沢部町が、大学と連携し、アウトキャンパス事業を始めた。この事業に参加する学生が、厚沢部ファンの獲得を目指した活動を考え実践する。	地域課題を調べ解決に寄与するアイデアを提案できる。提案したアイデアの実践に向けて活動できる。							△	△

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部日本文学学科カリキュラムマップ

文学部日本文学学科												
日本文学学科の教育目標は、日本文化の諸領域の内に自ら課題を立て、それを解決できる能力を養成することで、社会に役立つ人材を育てることです。あわせて、文化探求現場主義をモットーとして、座学のみならずフィールドワークも重視しています。												
文学部日本文学学科　カリキュラムマップ			文学部日本文学学科のディプロマポリシー（DP）									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2			DP3			DP4	
			知識・理解		汎用的能力			態度・志向性			統合的な学習経験 と創造的思考力	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2
			日本文化・異文化に関して説明することができる。	日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。	数量的に示された文化的・社会的現象を説明することができる。	ICTを用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。	知識や情報を利用して、問題を解決することができる。	自己の権利と義務を適正に行使することができる。	社会の発展のために積極的に関与することができる。	卒業後も自律・自立して学習することができる。	これまでの学習経験から、新たな課題を立てることができる。	これまでの学習体から、新たな課題を立てることができる。
(A・言語)												
言語学Ⅰ N131-136-01	言語学の基礎を学ぶ。	言語の客観的観察ができる。	◎	○		△	○			○	○	○
言語学Ⅱ N131-136-51	言語学の基礎を学ぶ。	言語の事象を説明できる。	◎	○		△	○			○	○	○
日本語学Ⅰ N131-137-01	日本語学の基礎を学ぶ。	日本語の客観的観察ができる。	◎	○			○			○	○	○
日本語学Ⅱ N131-137-51	日本語学の基礎を学ぶ。	日本語の事象を説明できるようになる。	◎	○			○			○	○	○
言語と文化Ⅰ N231-136-02	言語と文化の関係を学ぶ。	言語と文化の関係を理解できる。	◎	○			○			○	○	○
言語と文化Ⅱ N231-136-52	言語と文化の関係を学ぶ。	言語と文化の関係を説明できる。	◎	○			○			○	○	○
(B・文学)												
日本文学の歴史Ⅰ N131-131-01	日本の古典文学史を学ぶ。	日本文学の特色を把握できる。	◎	○			◎			○	○	○
日本文学の歴史Ⅱ N131-131-51	日本の古典文学史を学ぶ。	日本文学の特色を把握できる。	◎	○			◎			○	○	○
日本の古典文学Ⅰ N231-131-02	日本古典文学の基礎を学ぶ。	古文の読解ができるようになる。	◎	○			◎			○	○	○
日本の古典文学Ⅱ N231-131-52	日本古典文学の基礎を学ぶ。	古文の読解ができるようになる。	◎	○			◎			○	○	○
日本の近代文学Ⅰ N231-131-03	日本近代小説の基礎を学ぶ。	近代小説史を把握できる。	◎	○			◎			○	○	○
日本の近代文学Ⅱ N231-131-53	日本近代小説の基礎を学ぶ。	近代小説史を把握できる。	◎	○			◎			○	○	○
(C・思想と芸術)												
日本の思想Ⅰ N231-114-01	古代から近世初期の日本思想史を通史的に概観する。	日本思想史を全体的に把握できる。	◎	◎			◎	○	○	○	◎	◎
日本の思想Ⅱ N231-114-51	近世から近代の日本思想史を通史的に概観する。	日本思想史を全体的に把握できる。	◎	◎			◎	○	○	○	◎	◎
仏教と文化Ⅰ N131-114-11	日本における仏教の歴史と文化への影響を概観する。	文化形成における宗教の重要性を理解できる。	◎	◎			◎	○	○	○	○	○
仏教と文化Ⅱ N131-114-61	仏教的視点から現代社会と尊厳を考える。	現代社会の諸問題を複合的視点から考察できる。	◎	◎			◎	◎	○	○	○	○
美術の歴史Ⅰ N131-116-01	日本彫刻史の通史を学ぶ。	日本彫刻の特色を説明することができる。	◎	◎			○		○	◎	○	○
美術の歴史Ⅱ N131-116-51	日本絵画史の通史を学ぶ。	日本絵画の特色を説明することができる。	◎	◎			○		○	◎	○	○
書道の歴史 N231-116-11	中国と日本の書の歴史を学ぶ。	中国および日本の書道の歴史を概観することができる。	◎	◎	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書論 N231-116-61	画禅室随筆を解説。	「書画一致」という論点を理解できる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎

文学部日本文学学科 カリキュラムマップ			文学部日本文学学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2			DP3			DP4	
			知識・理解		汎用的能力			態度・志向性			統合的な学習経験 と創造的思考力	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2
			日本文化・異文化に関して説明することができる。	日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。	数量的に示された文化的・社会的現象を説明することができる。	ICTを用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。	知識や情報を利用して、問題を解決することができる。	自己の権利と義務を適正に行使することができる。	社会の発展のために積極的に関与することができる。	卒業後も自律・自立して学習することができる。	これまでの学習経験を活用して、課題を解決することができる。	これまでの学習体験から、自ら新たな課題を立てることができる。
(D・社会と民俗)												
現代社会学Ⅰ N131-261-01	現代社会の諸問題について学ぶ。	現代社会の諸問題の特質を理解することができる。	◎	◎	◎	△	○		◎	○	○	○
現代社会学Ⅱ N131-261-51	グローバル化のなかにある日本社会を再考する。	通時的・共時的に日本社会を理解することができる。	◎	◎	◎	△	○		◎	○	○	○
文化人類学Ⅰ N131-183-01	文化の多様性と相対性を考える。	文化の多様性を相対的・客観的に見ることができる。	◎	◎	◎		○		○	○	○	○
文化人類学Ⅱ N131-183-51	親族と婚姻を中心に社会の多様性を考える。	社会の多様性を相対的・客観的に見ることができる。	◎	◎	◎		○		○	○	○	○
日本民俗学Ⅰ N231-183-02	民間伝承の意味を読み解く。	民間伝承の意味や起源を読み解く力が得られる。	◎	◎	○		○		○	○	○	○
日本民俗学Ⅱ N231-183-52	口承文芸と俗信をそれらの背景とともに考える。	口承文芸と俗信の意味や起源を読み解く力が得られる。	◎	◎	○		○		○	○	○	○
(英語特別科目)												
フレッシュマン 英会話Ⅰ N131-141-01	リスニングとスピーキングを中心に学ぶ。	英語で考え、表現することができる。	◎				○	△	○	○	◎	○
フレッシュマン 英会話Ⅱ N131-141-51	英語で基本的な会話の練習をする。	さまざまな英語圏の人々の英語を理解することができる。	◎				○	△	○	○	◎	○
上級英会話Ⅰ N231-141-02	語彙と会話のトピックスを増やす。	英語で自然に自己表現ができる。	◎				○	△	○	○	◎	○
上級英会話Ⅱ N231-141-52	英語でプレゼンテーションを行う。	英語で多岐にわたるトピックスを話すことができる。	◎				○	△	○	○	◎	○
(特講A)												
日本語の音声Ⅰ N231-137-02	日本語の音声の基礎を学ぶ。	日本語の音声の客観的観察ができるようになる。	◎	○			○			○	○	○
日本語の音声Ⅱ N231-137-52	日本語の音声の基礎を学ぶ。	日本語の音声事象を説明できるようになる。	◎	○			○			○	○	○
日本語の文法Ⅰ N231-137-03	日本語の文法の基礎を学ぶ。	日本語の文法の客観的観察ができるようになる。	◎	○			○			○	○	○
日本語の文法Ⅱ N231-137-53	日本語の文法の基礎を学ぶ。	日本語の文法事象を説明できるようになる。	◎	○			○			○	○	○
日本語の表現Ⅰ N231-137-04	日本語の表現論の基礎を学ぶ。	日本語の表現の客観的観察ができるようになる。	◎	○			○			○	○	○
日本語の表現Ⅱ N231-137-54	日本語の表現論の基礎を学ぶ。	日本語の表現を説明できるようになる。	◎	○			○			○	○	○
日本語の教育Ⅰ N331-139-01	日本語教育の基礎を学ぶ。	日本語教育のスキルを身につけることができる。	◎	○			○		○	○	○	○
日本語の教育Ⅱ N331-139-51	日本語教育の基礎を学ぶ。	日本語教育のスキルを活用することができる。	◎	○			○		○	○	○	○
(特講B)												
古典文学研究Ⅰ N331-131-04	日本の古典文学を精読する。	読解力と分析力、作品を読み味わう感性が養われる。	◎	○			○		○	○	◎	○
古典文学研究Ⅱ N331-131-54	日本の古典文学を精読する。	読解力と分析力、作品を読み味わう感性が養われる。	◎	○			○		○	○	◎	○
近代文学研究Ⅰ N331-131-05	日本近代の小説を深く学ぶ。	表現の分析、思想の読解ができる。	◎	○			○		○	○	◎	○

文学部日本文学学科 カリキュラムマップ			文学部日本文学学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2			DP3			DP4	
			知識・理解		汎用的能力			態度・志向性			統合的な学習経験 と創造的思考力	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2
			日本文化・異文化に関して説明することができる。	日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。	数量的に示された文化的・社会的現象を説明することができる。	ICTを用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。	知識や情報を利用して、問題を解決することができる。	自己の権利と義務を適正に行使することができる。	社会の発展のために積極的に関与することができる。	卒業後も自律・自立して学習することができる。	これまでの学習経験を活用して、課題を解決することができる。	これまでの学習体験から、自ら新たな課題を立てることができる。
近代文学研究Ⅱ N331-131-55	日本近代の小説を深く学ぶ。	表現の分析、思想の読解ができる。	◎	○			○		○	○	◎	○
中国の古典Ⅰ N231-132-01	中国古典の基礎を学ぶ。	漢文法を習得できる。	◎	○			○		○	○	◎	○
中国の古典Ⅱ N231-132-51	中国古典の基礎を学ぶ。	故事成語などを知る。	◎	○			○		○	○	◎	○
(特講C)												
日本文化史Ⅰ N131-114-02	日本文化の歴史を学ぶ。	日本文化史の特徴を説明できる。	◎	◎			◎	◎	◎	○	◎	◎
日本文化史Ⅱ N131-114-52	日本文化の歴史を学ぶ。	日本文化史の特徴を説明できる。	◎	◎			◎	◎	◎	○	◎	◎
仏教と芸術Ⅰ N231-115-01	仏教美術の基礎知識を学ぶ。	仏教美術の基礎知識を修得し、主要作例の特色を説明することができる。	◎	◎			○		○	◎	○	○
仏教と芸術Ⅱ N231-115-51	仏教美術の基礎知識を学ぶ。	仏教美術の基礎知識を修得し、主要作例の特色を説明することができる。	◎	◎			○		○	◎	○	○
禅と日本文化Ⅰ N331-114-12	禅思想とそれにもとづく日本文化を概観する。	禅思想の基本と衣食住に対する影響を理解できる。	◎	◎			○	○	○	○	◎	◎
禅と日本文化Ⅱ N331-114-62	禅浄双修からみる日本の禅を論じる。	近世・近代の禅から日本文化に関する基礎知識を得る。	◎	◎			◎	◎	◎	○	◎	◎
書道文化ⅠⅠ N131-117-01	書写技法の基本を学ぶ。	漢字と仮名の書写基本を理解し、表現することができる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅠⅡ N131-117-51	行書の基本を学ぶ。	行書の筆使い、字形を学び、実際に書くことができる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅡⅠ N231-117-02	楷書の古典を学ぶ。	唐の楷書を学び、楷書作品を創作することができる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅡⅡ N231-117-52	楷書の古典を学ぶ。	顔真卿の楷書と六朝時代の造像記の歴史と技法を表現することができる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅢⅠ N331-117-03	仮名書法を学ぶ。	日本書道史と仮名の作品の理論・制作の技法を表現できる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅢⅡ N331-117-53	仮名書法を学ぶ。	日本書道史と仮名の作品の理論・制作の技法を表現できる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅣⅠ N331-117-04	篆刻の技法を学ぶ。	「刻のコツ」を体得し、各種の印を実作することができる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅣⅡ N331-117-54	水墨画で筆墨技法を学ぶ。	実技を通して「書画一致」という論点を理解できるし、表現できる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅤⅠ N331-117-05	隷書の書法を学ぶ。	古典の隷書を通して隷書作品を創作することができる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
書道文化ⅤⅡ N331-117-55	行書・草書の書法を学ぶ。	古典の隷書を通して行書・草書の創作ができる。	◎	○	○	△	◎	○	○	◎	◎	◎
(特講D)												
社会調査法Ⅰ N331-261-02	インタビュー調査の方法を学ぶ。	さまざまな社会現象を分析することができる。	◎	◎	△	○	○	○	△	○	○	○
社会調査法Ⅱ N331-261-52	アンケート調査の方法を学ぶ。	現代社会を解析することができる。	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	○	○	○

文学部日本文化学科 カリキュラムマップ			文学部日本文化学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2			DP3			DP4	
			知識・理解		汎用的能力			態度・志向性			統合的な学習経験 と創造的思考力	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2
			日本文化・異文化に関して説明することができる。	日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。	数量的に示された文化的・社会的現象を説明することができる。	ICTを用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。	知識や情報を利用して、問題を解決することができる。	自己の権利と義務を適正に行使することができる。	社会の発展のために積極的に関与することができる。	卒業後も自律・自立して学習することができる。	これまでの学習経験から、新たな課題を解決することができる。	これまでの学習体験から、自ら新たな課題を立てることができる。
家族と社会Ⅰ N331-261-03	家族変動と社会との関係性について学ぶ。	通時的・共時的に日本の家族についての知識を得る。	○	○	○	○	○			○	○	○
家族と社会Ⅱ N331-261-53	現代日本の家族問題を解明する。	事例や統計データを用いて、家族問題を解明することができる。	○	○	○	○	○			○	○	○
(広領域特講)												
日本文化特講Ⅰ N231-841-51	日本語表現力を修得するとともに伝統文化を体験する。	日本語の的確な表現力と、茶道等の基本を身につける。	○	○		○	○	○	○	○	○	○
日本文化特講Ⅱ N231-114-53	日本文化に対する仏教、儒教、道教の影響を概観する。	アジアの思想と日本文化との密接な関係を理解できる。	○	○			○		△	○	○	○
日本文化特講Ⅲ N231-261-04	地域住民組織の構造と機能を学ぶ。	地域においてさまざまな貢献ができるようになる。	○	○	○		○	○	○	○	○	○
日本文化特講Ⅳ N231-261-54	ジェンダーに関する基礎的な知識を学ぶ。	女性の眼から社会を見ることで、これまでになかった社会認識を獲得する。	○	○	○		○	○	○	○		○
日本文化特講Ⅴ N231-841-01	日本文化研究の4領域を学ぶ。	どのゼミを専攻するか考えることができる。	○	○			○		○		○	○
日本文化特講Ⅵ N331-137-05	日本語の方言の基礎を学ぶ。	方言の客観的観察ができる。	○	○			○			○	○	○
日本文化特講Ⅶ N331-116-22	甲骨文字を学ぶ。	漢字が日本人に何をもたらしたのかを理解する。	○	○			○			○	○	○
日本文化特講Ⅷ N331-116-72	脱文解字を読む。	漢字と文化を総合的に理解する。	○	○			○			○	○	○
日本文化特講Ⅸ N331-139-02	日本語教授法を学ぶ。	日本語教授法の基礎知識が得られる。	○	○			○			○	○	○
日本文化特講Ⅹ N331-137-55	日本語の方言の基礎を学ぶ。	方言の事象を説明できる。	○	○			○			○	○	○
(講読)												
講読(言語)Ⅰ N322-842-01	研究に必要な文献を読む。	アカデミックな文章を読める。	○	○	○	○	○			○	○	○
講読(言語)Ⅱ N322-842-51	研究に必要な文献を読む。	アカデミックな文章を読み書きできる。	○	○	○	○	○			○	○	○
講読(文学)Ⅰ N322-842-02	日本文学史上重要な作品を読む。	文学作品を深く解釈・鑑賞することができる。	○	○			○		○	○	○	○
講読(文学)Ⅱ N322-842-52	日本文学史上重要な作品を読む。	文学作品を深く解釈・鑑賞することができる。	○	○			○		○	○	○	○
講読 (思想と芸術)Ⅰ N322-842-03	日本の前近代の思想を読解する。	前近代の文章を読みこなし、その現代的意義を考えられる。	○	○			○	○	○	○	○	○
講読 (思想と芸術)Ⅱ N322-842-53	日本の前近代の思想を読解する。	前近代の文章を読みこなし、その現代的意義を考えられる。	○	○			○	○	○	○	○	○
講読 (思想と芸術)Ⅰ N322-842-03	仏教・宗教と日本文化に関する諸論文を講読する。	読解力とともにテーマに即して議論する力が得られる。	○	○			○		○	○	○	○
講読 (思想と芸術)Ⅱ N322-842-53	仏教・宗教と日本文化に関する諸論文を講読する。	読解力とともにテーマに即して議論する力が得られる。	○	○			○		○	○	○	○
講読 (思想と芸術)Ⅰ N322-842-03	書道の歴史と鑑賞法を学ぶ。	多角的な視点から書道文化の特色を考察できる。	○	○		△	○	○	○	○	○	○

文学部日本文化学科 カリキュラムマップ			文学部日本文化学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2			DP3			DP4	
			知識・理解		汎用的能力			態度・志向性			統合的な学習経験 と創造的思考力	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2
			日本文化・異文化に関して説明することができる。	日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。	数量的に示された文化的・社会的現象を説明することができる。	ICTを用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。	知識や情報を利用して、問題を解決することができる。	自己の権利と義務を適正に行使することができる。	社会の発展のために積極的に関与することができる。	卒業後も自律・自立して学習することができる。	これまでの学習経験から、新たな課題を解決することができる。	これまでの学習体験から、自ら新たな課題を立てることができる。
講読 (思想と芸術) II N322-842-53	書道の歴史と鑑賞法を学ぶ。	多角的な視点から書道文化の特色を考察できる。	◎	◎		△	◎	○	○	◎	◎	◎
講読 (思想と芸術) I N322-842-03	日本美術史に関する諸文献を講読する。	文献および作例から得た情報を相互に関連づけることができる。	◎	◎			◎	○	○	◎	◎	◎
講読 (思想と芸術) II N322-842-53	日本美術史に関する諸文献を講読する。	文献および作例から得た情報を相互に関連づけることができる。	◎	◎			◎	○	○	◎	◎	◎
講読 (社会と民俗) I N322-842-04	社会学・民俗学の諸文献を講読する。	読解力とともにテーマに即して議論する力が得られる。	◎	◎	○		◎			◎	○	○
講読 (社会と民俗) II N322-842-54	社会学・民俗学の諸文献を講読する。	読解力とともに自らが論文を執筆する力が得られる。	◎	◎	○		◎			◎	○	○
(演習)												
演習 (言語) I N322-842-11	日本語分析の基礎を学ぶ。	基礎的な分析ができるようになる。	◎	○	◎	◎	○			◎	◎	◎
演習 (言語) II N322-842-61	日本語分析の基礎を学ぶ。	基礎的な分析と考察ができる。	◎	○	◎	◎	○			◎	◎	◎
演習 (文学) I N322-842-12	日本文学史上重要な作品を研究する。	文学研究の方法を身につけることができる。	◎	○			◎		◎	◎	◎	◎
演習 (文学) II N322-842-62	日本文学史上重要な作品を研究する。	文学研究の方法を身につけることができる。	◎	○			◎		◎	◎	◎	◎
演習 (思想と芸術) I N322-842-13	日本近代思想文献の読解演習。	近代思想の現代的意義を考察できる。	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎
演習 (思想と芸術) II N322-842-63	日本近代思想文献の読解演習。	近代思想の現代的意義を考察できる。	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎
演習 (思想と芸術) I N322-842-13	仏教の古典を講読する。	古代・中世における民衆の仏教受容を理解できる。	◎	◎			○			○	○	◎
演習 (思想と芸術) II N322-842-63	仏教の古典を講読する。	仏教祖師の思想を原典に基づいて理解できる。	◎	◎			○			○	○	◎
演習 (思想と芸術) I N322-842-13	書道の表現技法を学ぶ。	多様な技法を習得し、作品制作の能力を身につけることができる。	◎	○			◎	○	○	○	◎	◎
演習 (思想と芸術) II N322-842-63	書道の表現技法を学ぶ。	多様な技法を習得し、作品制作の能力を身につけることができる。	◎	○			◎	○	○	○	◎	◎
演習 (思想と芸術) I N322-842-13	美術史学研究の基礎を学ぶ。	日本美術を研究対象として分析し、自身の見解を述べるができる。	◎	◎			◎	○	○	◎	◎	◎
演習 (思想と芸術) II N322-842-63	日本美術に関する研究発表と議論を行う。	美術史的な見地から作例を分析し研究発表と議論を行うことができる。	◎	◎			◎	○	○	◎	◎	◎
演習 (社会と民俗) I N322-842-14	プレゼンテーションや討論の仕方、アカデミックな文章の書き方を学ぶ。	社会的・民俗的なものの見方・考え方ができる。	◎	◎	○	○	○		△	○	○	○

文学部日本文学学科 カリキュラムマップ			文学部日本文学学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2			DP3			DP4	
			知識・理解		汎用的能力			態度・志向性			統合的な学習経験 と創造的思考力	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2
			日本文化・異文化に関して説明することができる。	日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。	数量的に示された文化的・社会的現象を説明することができる。	ICTを用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。	知識や情報を利用して、問題を解決することができる。	自己の権利と義務を適正に行使することができる。	社会の発展のために積極的に関与することができる。	卒業後も自律・自立して学習することができる。	これまでの学習経験から、新たな課題を解決することができる。	これまでの学習体験から、新たな課題を立てることができる。
演習 (社会と民俗)Ⅱ N322-842-64	プレゼンテーションや討論の仕方、アカデミックな文章の書き方を学ぶ。	社会学的・民俗学的なものの見方・考え方ができる。	◎	◎	○	○	○		△	○	○	○
世界のなかの 日本文化Ⅰ N331-114-21	日本美術の、西洋のジャポニズムへの影響を学ぶ。	浮世絵の特徴と、西洋絵画への影響を理解できる。	◎	◎			○		○	○	○	○
世界のなかの 日本文化Ⅱ N331-114-71	日本の芸術・芸能の、世界への影響を学ぶ。	日本の伝統芸能やマンガの、世界への影響を理解できる。	◎	◎			○		○	○	○	○
アジアのなかの 日本文化Ⅰ N331-114-22	日本文化に対するインドの影響を学ぶ。	日本文化の基礎をなすインドの世界観を理解できる。	◎	◎			○		△	○	○	○
アジアのなかの 日本文化Ⅱ N331-114-72	日本文化に対する中国の影響を学ぶ。	日本文化の基礎をなす漢字文化の影響を理解できる。	◎	◎			○		△	○	○	○
(総合講義)												
総合演習Ⅰ N412-842-21	日本文化研究の基礎を確立する。	日本文化の研究を踏まえ卒論が書ける能力をつける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
総合演習Ⅱ N412-842-71	日本文化研究を発展させる。	日本文化の研究を踏まえ卒論が書ける能力をつける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
卒業論文 N416-845-01	文献や資料の収集、および調査を実施する。	自己表現力や分析力を修得し、問題を探求することができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部日本文化学科 自由選択科目カリキュラムマップ			文学部日本文化学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1		DP2			DP3			DP4	
			知識・理解		汎用的能力			態度・志向性			統合的な学習経験 と創造的思考力	
			DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2
			日本文化・異文化に関して説明することができる。	日本社会の諸現象を通時的・共時的に論じることができる。	数量的に示された文化的・社会的事象を説明することができる。	ICTを用いて多様な情報から適切な情報を収集し、発信することができる。	知識や情報を利用して、問題を解決することができる。	自己の権利と義務を適正に行使することができる。	社会の発展のために積極的に関与することができる。	卒業後も自律・自立して学習することができる。	これまでの学習体験から、新たな課題を立てることができる。	これまでの学習体験から、新たな課題を立てることができる。
キャリア・デザイン Q131-861-01	自分自身の将来・進路を考えるうえで必要なステップを、講義・演習を踏まえて体験し、自分に何が必要なのか、今後何をすべきかを、明確にする。就職活動の実際についての情報提供を行いながら、最終的には自分の特徴・強みや、目標などを表現できるようになることをねらいとする。	進路選択に向けて、これから何をすべきか、自分なりの行動計画を立案できる。就職活動時にも必要となる自己表現を、自信をもって行えるようになる。社会で必要とされる力をチェックし、自分の力を伸ばす行動につなげられる。業界・企業について、具体的に情報収集・比較し、進路の検討を始められる。チームで動く際に必要なコミュニケーション力を何度も試し、自信をもてる。				○	○	○	○	◎	○	○
インターンシップ Q238-861-02	企業や公的機関が実施するインターンシップに参加することにより、学生時代のアルバイト経験とは異なる仕事・活動を体験し、業種・業界知識や職場・職種の知識を得て、就業意欲を高める。	社会における社員レベルでの現実的な就業を体験し、就業への準備ができる。就職活動時に実際の体験や知識を生かしスムーズな就業活動ができる。一連のインターンシップの活動を通じて社会人としての行動をとることができる。				○	○		○	◎	○	
地域連携学A Q231-861-05	産業界や行政のみでは対応できない問題に、市民セクターがどのような取り組みをしているかを、社会課題の解決に果敢に挑戦する実務者を講師として学ぶ。7つのテーマ「防災、子育て、教育、障がい、高齢化、国際、環境」から、それぞれ何が問題であり課題なのかを一緒に考える。	第1に社会課題とその課題解決の方法・実践を学び生活者としての視野を広げ、自分もできる事を考えられるようになる。第2に講師との対話やグループでのディスカッションを通してコミュニケーション能力の向上を得ることができる。				○	○	○	◎	○	◎	◎
地域連携学C Q132-261-01	東日本大震災による津波被害と放射線被害をうけた福島県伊達郡川俣町の山木屋に赴き、山木屋をまるごと体験することや地域の方々との交流を通して復興の現状と力強く生きていくことの意味を実感する。	夏季休暇中の3泊4日の宿泊研修によるフィールドワークで、教室での学びでは得られない経験ができ、文字どおりの「生きる力」への気づきなど、様々な成長が期待できる。被災地の現状についても実感することができる。					○		◎	○	◎	◎
地域連携学D Q132-861-10	人口減少と少子高齢化が進む過疎化地域の北海道厚沢部町が、大学と連携し、アウトキャンパス事業を始めた。この事業に参加する学生が、厚沢部ファンの獲得を目指した活動を考え実践する。	地域課題を調べ解決に寄与するアイデアを提案できる。提案したアイデアの実践に向けて活動できる。					○		◎	○	◎	◎

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部グローバル英語学科カリキュラムマップ

文学部グローバル英語学科							
グローバル英語学科は、将来の目標や英語を生かせる職業分野に応じた知識と技能、実務的な英語運用能力を備えた人材の育成に主眼を置く、キャリア教育とESP（English for Specific Purposes, 目的・職業別英語）の概念を基軸とした学科である。このため、「観光・航空」モデルを擁する「観光コース」と「国際ビジネス」「通訳・翻訳」「英語教員資格」モデルを擁する「英語キャリアコース」の2コース4モデルを設置し、各専門分野で必要とされる知識・技能・英語力を養成することを目的としている。国内外の企業やグローバル社会が求める実務的で即応性のある英語運用能力と異文化理解力を備え、豊かな専門的知識と技能に基づく創造的思考力や課題解決力を発揮して、グローバルな立場で主体的にグローバル社会の諸問題に対応することができる人材を育成することを目標としている。							
文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー（DP）				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1
			グローバル社会で求められる実用的で実践的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことが出来る能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力
Oral Communication I a V114-141-01	身近なトピックを題材に、英語でのオーラルコミュニケーション能力を向上させる。	相手の言っていることを理解し、自分の考えを相手に伝えることができる。	◎	○			
Oral Communication I b V114-141-02	身近なトピックを題材に、英語でのオーラルコミュニケーション能力をさらに向上させる。	相手の言っていることを理解し、自分の考えを相手に伝えることができる。	◎	○			
Oral Communication II a V214-141-03	グループやペア活動を通じて、英語でのオーラルコミュニケーション能力を向上させる。	実際の生活でよく使われる英語に重点を置きながら、英語の実践力を高める。	◎	○			
Oral Communication II b V214-141-04	グループやペア活動を通じて、英語でのオーラルコミュニケーション能力をさらに向上させる。	実際の生活でよく使われる英語に重点を置きながら、英語の実践力をさらに高める。	◎	○			
Oral Communication III a V314-141-05	様々なトピックについて、自身自身の考えを相手に伝えられるようになる。	場面に応じて英語で発言や討論ができる実践力を身につける。	◎	◎			○
Oral Communication III b V314-141-06	様々なトピックについて、自身自身の考えを相手に伝えられるようになる。	場面に応じて英語で発言や討論ができる実践力を身につける。	◎	◎			○
Listening I a V114-141-11	英語の音声聞いてリスニング技術を学ぶ。	TOEICの問題形式に慣れ、ビジネス分野の語彙など頻出語彙やフレーズを覚え、キーワードや要点の把握ができる。	◎	△			
Listening I b V114-141-12	場面やテーマに応じた音声を聞き、実社会に通用するレベルまで聴解力を強化する。	語彙力を高め、TOEICの目標点に到達する。文脈から展開を予測しながら聞く力を高める。	◎	△			
Listening II a V214-141-13	多様なテーマに関して視聴覚教材を用いて聴解能力を高めていく。	多様なテーマについての英語を聞き基本的なコミュニケーションにおいて困難が生じないレベルにまで到達する。	◎	△		△	
Listening II b V214-141-14	多様なテーマに関して視聴覚教材を用いて聴解能力を高めていく。	多様なテーマについての英語を聞き基本的なコミュニケーションにおいて困難が生じないレベルにまで到達する。	◎	△		△	
Discussion & Debate a V334-141-07	This course will build on material covered in previous courses as well as develop new and relevant methods of expressing oneself in English.	Course goals will include developing strategies for expressing opinions and engaging others in discussion.	◎	◎			◎

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー (DP)					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
Discussion & Debate b V334-141-08	This course will build on material covered in previous courses as well as develop new and relevant methods of expressing oneself in English.	Course goals will include developing strategies for expressing opinions and engaging others in discussion.	◎	◎			◎	
Writing I a V114-141-21	読み手がいることを意識して、言いたいことが明確に伝わるような英文が書ける。	あらかじめ設定されたテーマについて読み手が理解できる英文を書くことができる。	◎	△				
Writing I b V114-141-22	読み手がいることを意識して、言いたいことが明確に伝わるような英文が書ける。	あらかじめ設定されたテーマについて読み手が理解できる英文を書くことができる。	◎	△				
Writing II a V214-141-23	様々な表現方法や文章構成を学び、物事を分析する力や創造的な作文法を身につける。	英語で思考し、英語で書くことを学ぶ。自身の考えや調べた情報などを英語で効果的に書く力を身につける。	◎	△		△		
Writing II b V214-141-24	まとまりの良いパラグラフを書き、出来上がったパラグラフを組み合わせてエッセイに仕立てることを学ぶ。	英作文に於いて更なる流暢さを獲得する。学生自身の考えや調べた情報などを英語で効果的に書く力を身につけることを目指す。	◎	△		△		
Writing III a V314-141-25	アカデミックライティングの基本などを学ぶ。	正しい文構造の小論文が英語で書けるようになる。	◎	○		△		
Writing III b V314-141-26	様々なライティングのスタイルについて学び、最終プロジェクトにまとめ上げる。	様々な種類のレポートを英語で書く手法を学ぶ。	◎	○		△		
Reading & Writing a V434-141-27	論文やレポート、研究活動およびそれを支える学術的な文章の特性を理解し、文章の構成や論理展開の方法、および的確な表現について学習する。	専門書や論文を批判的に読み、文章の目的、表現と構成を理解した上で、基本的な自分の専門分野に基づいたレポートや論文が作成できるようになる。	○	△		△	△	
Reading & Writing b V434-141-28	論文やレポート、研究活動およびそれを支える学術的な文章の特性を理解し、文章の構成や論理展開の方法、および的確な表現について学習する。	専門書や論文を批判的に読み、文章の目的、表現と構成を理解した上で、基本的な自分の専門分野に基づいたレポートや論文が作成できるようになる。	○	△		△	△	
Intensive Reading I a V114-141-31	リーディング能力を養成する。	教材の内容と言語表現を深く理解し、正確に行間を読めるようなリーディングの基礎力を身に付ける。	◎	△				
Intensive Reading I b V114-141-32	リーディング能力を養成する。	教材の内容と言語表現を深く理解し、正確に行間を読めるようなリーディングの基礎力を身に付ける。	◎	△				
Intensive Reading II a V214-141-33	リスニング・ライティング・スピーキングと連動して、リーディング力を伸ばす。	教材の内容と言語表現を深く理解し、正確に行間を読めるようなリーディングの応用力を身に付ける。	◎	○		△		
Intensive Reading II b V214-141-34	リスニング・ライティング・スピーキングと連動して、リーディング力を伸ばす。	教材の内容と言語表現を深く理解し、正確に行間を読めるようなリーディングの応用力を身に付ける。	◎	○		△		

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー (DP)					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
Intensive Reading III a V314-141-35	リスニング・ライティング・スピーキングと連動して、リーディング力を伸ばす。	教材の内容と言語表現を深く理解し、正確に行間を読めるようなリーディングの発展力を身に付ける。	◎	○		△		
Intensive Reading III b V314-141-36	リスニング・ライティング・スピーキングと連動して、リーディング力を伸ばす。	教材の内容と言語表現を深く理解し、正確に行間を読めるようなリーディングの発展力を身に付ける。	◎	○		△		
Extensive Reading I a V114-141-41	Graded ReadersのLevel 1以上の易しい英語をたくさん読み、日本語に訳さなくても読んで理解できる力を養う。	①辞書を引かなくても、意味を推測して読む力を身につける②文を先頭から、後戻りせずに読んで理解する力を身につける③キーワードだけを拾い読みして、要点を理解する力を身につける。	◎	△				
Extensive Reading I b V114-141-42	Graded ReadersのLevel 1以上の易しい英語をたくさん読み、日本語に訳さなくても読んで理解できる力を養う。	①辞書を引かなくても、意味を推測して読む力を身につける②文を先頭から、後戻りせずに読んで理解する力を身につける③キーワードだけを拾い読みして、要点を理解する力を身につける。	◎	△				
Extensive Reading II a V214-141-43	Graded ReadersのLevel 2以上の英語をたくさん、速く、訳さずに読み、10万語以上を目標に継続的な多読を行う。また、読んだ内容を他者に英語で伝える力を身につける。	①英語の本を10万語以上を目標に読み、毎日英語を読む習慣をつける②辞書を引かずに英語をすらすら読むために、小説などで用いられる日常的な語彙力を高める③英語で要約を述べるリプロダクション力をつける。	◎	△				○
Extensive Reading II b V214-141-44	Graded ReadersのLevel 2以上の英語をたくさん、速く、訳さずに読み、10万語以上を目標に継続的な多読を行う。また、読んだ内容を他者に英語で伝える力を身につける。	①英語の本を10万語以上を目標に読み、毎日英語を読む習慣をつける②辞書を引かずに英語をすらすら読むために、小説などで用いられる日常的な語彙力を高める③英語で要約を述べるリプロダクション力をつける。	◎	△				○
Comprehensive Reading a V314-141-51	Graded ReadersのLevel 3以上の英語を楽しみながら継続的に読む。Graded Readersの音声データをそのまま理解する力をつけたり、本の要約を英語で伝える力を高める。本の内容に関するペアまたはグループワークに取り組む。	①毎日英語を読むことを習慣化する②小説などで用いられる日常的な語彙力を高める③英語を聴いて、日本語に訳さずに理解する力をつける④英語で要約を述べるリプロダクション力を高める。⑤ペアやグループで協働してプロジェクトに取り組む力を養う。	◎	△				○
Comprehensive Reading b V314-141-52	Graded ReadersのLevel 3以上の英語を楽しみながら継続的に読む。Graded Readersの音声データをそのまま理解する力をつけたり、本の要約を英語で伝える力を高める。本の内容に関するペアまたはグループワークに取り組む。	①毎日英語を読むことを習慣化する②小説などで用いられる日常的な語彙力を高める③英語を聴いて、日本語に訳さずに理解する力をつける④英語で要約を述べるリプロダクション力を高める。⑤ペアやグループで協働してプロジェクトに取り組む力を養う。	◎	△				○

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー (DP)					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことが出来る能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することが出来る能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
英文法 a V212-138-01	コミュニケーションのための英文法の習得を目的とする。	高校までに培った英語力を基礎にし、英語と日本語との言語構造の違いや文化的背景について理解を深め、英語の文法や概念を帰納的に理解する。	◎		○	△		
英文法 b V212-138-02	コミュニケーションのための英文法の習得を目的とする。	高校までに培った英語力を基礎にし、英語と日本語との言語構造の違いや文化的背景について理解を深め、英語の文法や概念を帰納的に理解する。	◎		○	△		
TOEIC I a V114-144-01	TOEICと同じ形式の問題を解くことで、問題形式に慣れる。	文法、語法、語彙の他、TOEIC受験の際に必要なスキルやストラテジーを身につけスコアアップを図る。	◎			△		
TOEIC I b V114-144-02	TOEICと同じ形式の問題を解くことで、問題形式に慣れる。	TOEICスコアアップのための語彙の拡充と文法力を強化する。	◎			△		
TOEIC II a V214-144-03	TOEICで取り上げられるトピックでよく用いられる語彙や表現を習得する。	TOEICテストの形式に慣れ、できる限り高得点を取得することを目指す。	◎			△		
TOEIC II b V214-144-04	TOEICで取り上げられるトピックでよく用いられる語彙や表現を習得する。	TOEICテストの形式に慣れ、できる限り高得点を取得することを目指す。	◎			△		
TOEFL I a V134-144-11	アカデミック英語運用能力を育成することを目標に、内容把握、要約や議論などの設問に取り組む。	TOEFL iBTの構成と傾向を把握する。英語4技能を伸ばすための、学習方略を習得しスコアアップを図る。	○	△				
TOEFL I b V134-144-12	アカデミック英語運用能力を育成することを目標に、内容把握、要約や議論などの設問に取り組む。	TOEFL iBTの構成と傾向を把握する。英語4技能を伸ばすための、学習方略を習得しスコアアップを図る。	○	△				
TOEFL II a V234-144-13	TOEFL iBTの各分野を実際の試験と同じ形式の小テスト、復習中心の授業展開で進める。	留学先の講義を受ける際に必要な英語力を高める。	○	△				
TOEFL II b V234-144-14	TOEFL iBTの各分野を実際の試験と同じ形式の小テスト、復習中心の授業展開で進める。	留学先の講義を受ける際に必要な英語力を高める。	○	△				
異文化理解入門 V111-801-01	比較文化の基本原則を学び、世界の様々な文化の価値観と規範を比べることで異文化への理解を深める。	文化的視点で物事を見る力を養い、クリティカル・シンキングのスキルを身につける。		◎			◎	
北米事情 V221-801-11	産業革命以前から現代に至るまでのアメリカの発展と変遷を考察し、アメリカ文化への理解を深める。	アメリカ国内での移民の移動、社会、経済、多文化主義、社会運動の重要性の変化を考察する。	△	◎			○	
イギリス事情 V221-801-12	ロンドンオリンピックの映像と講師の実体験を基に、現代の英国事情と現代に至るまでの過程を学ぶ。	イギリスに関する基本的知識に加え、歴史的・政治的にいかに現代社会を複雑に形成するに至ったかを理解する。	△	◎			○	

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー（DP）					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
オセアニア事情 V221-801-13	This course aims to introduce students to the Antipodes; Australia and New Zealand, with the main focus of the course being Australia.	Students undertaking this course will gain general knowledge in addition to a practical, geographical, cultural and historical understanding of Australia and New Zealand.	△	◎			○	
英語で学ぶ日本事情 V221-801-14	This course is designed for English as a Foreign Language (EFL) students with at least an intermediate-level English ability.	Students will also have an opportunity to deconstruct, evaluate, compare and present research on Japanese cultural norms and talk about their own experiences as members of the culture.	△	◎			○	
国際ビジネス入門 V121-238-01	戦後の日本企業の国際化の過程を振り返り、グローバル化の企業活動への影響、企業の対応について学ぶ。	日本企業の国際化と円安・円高との関係や外国為替・貿易・国際金融の基礎知識を得る。		◎	△		◎	
経済・金融基礎 V121-236-01	経済・金融記事の理解を深める。	経済・金融の仕組みを理解し、経済主体、銀行などの金融機関の役割等を理解する。		◎		△	○	
英語学入門 V121-138-21	英語の歴史、変種、言語と文化や社会との関係、英語教育などの研究領域に関する学問の基礎知識を身につけ、より多角的な視野を養う。	①英語の歴史の基礎知識を理解する②英語の変種について学ぶ③英語と文化や社会の影響を学び異文化理解に関する知識を身につける④英語教育に関する基礎知識を身につける。		○	◎			
英語学基礎 V121-138-22	英語の語彙や文の構造、人間の認知機能の仕組み、文脈などと、意味の関係に関する理論を学び、英語をただ暗記するのではなく、言語に対する多角的な視点や論理的思考を養う。	①語や文の構造について基礎知識を学び、分析する力を身につける②ことばと認知の仕組み、談話の構造についての基礎知識を学び、言外の意味や、喩えを用いた自然な文を理解する力をつける。	△	○	◎	○		
言語・文化と教育入門 V121-140-01	言語と文化、言語習得と言語教育についての基本的な専門内容を理解する。	英語を中心として、言語および文化について学びながら、言語習得理論と言語教育を理解する。		○	◎			
観光入門 V121-811-01	観光にかかわる基礎知識や研究に不可欠な諸理論の理解と研究手法の基礎を学ぶ。	旅行業、宿泊産業、航空、運輸、テーマパーク等の基礎知識を身につけることができる。		○	○		△	◎
観光地理 V121-811-02	インバウンド政策や、観光プランニングに必要な観光地理、観光対象について分析、考察する。	観光産業に必要な観光地理、観光情報収集力、観光情報分析力、観光プランニング力、観光表現力、観光課題発見力を身につけ、分析力や考察力を養うことができる。		○	○		△	◎
通訳・翻訳入門 V221-142-01	基礎的な訓練を通じて、通訳・翻訳が英文和訳とは全く異なる行為であることを理解する。	場面の状況・目的に応じた訳を自分自身の判断で戦略的に考えることができる。	◎	○	◎	◎		
通訳・翻訳基礎 V221-142-02	さらに通訳・翻訳の世界への理解を深め必要な基礎的技能を高める。	場面の状況・目的に応じた訳を自分自身の判断で戦略的に考え実行することができる。	◎	○	◎	◎		

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー（DP）					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことが出来る能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
英語発音法 a V232-138-11	英語発音法の理論と実践を学ぶことを目的とする。	①分節音の体系、英語の音変化に関する知識を習得する。②発音記号[IPA: International Phonetic Alphabet]の読み書きができるようになる。③自分自身の英語発音力向上が図れる。	◎		○	△		
英語発音法 b V232-138-12	英語発音法の理論と実践を学ぶことを目的とする。	①分節音の体系、英語の音変化に関する知識を習得する。②発音記号[IPA: International Phonetic Alphabet]の読み書きができるようになる。③自分自身の英語発音力向上が図れる。	◎		○	△		
観光法規 a V231-811-11	観光関連法規（旅行業約款等）を学ぶ。	観光産業に必要な法的な知識を身につけることができる。			○		◎	△
観光法規 b V231-811-12	観光関連法規（旅行業約款等）を学ぶ。	観光産業に必要な法的な知識を身につけることができる。			○		◎	△
英文学 a V331-133-01	英語圏の文学の有名な作品を教材に、それらが書かれた時代背景について理解を深める。	文学作品を単なる娯楽ではなく、時代を映す鏡として分析できるようにする。		○	◎	△		
英文学 b V331-133-02	英語圏の文学の有名な作品を教材に、それらが書かれた時代背景について理解を深める。	文学作品を単なる娯楽ではなく、時代を映す鏡として分析できるようにする。		○	◎	△		
日英語比較論 V331-136-02	日本語と英語の違いについて、語彙、文法、意味などの面から理論的に学び、より英語らしい文章を書く力を身につける。また、日英語の違いの要因を考察し、日本と英語圏の国の文化や慣習の違いについて知識を深める。	①日英語間の語彙や文法、音声の違いを理解し、英語らしい文を書く力を高める。 ②日英語間の違いの背景にある文化的な違いを理解し、異文化理解力を高める。 ③日英語間の違いを発見し、その要因を分析する力を身につける。	△	○	◎	△		
第2言語習得論 V331-140-11	SLAにおける基本的な原理とテーマを扱い、SLA研究がどのように言語教育に役に立ち、影響を与えるかなどについて探究する。	SLAにおける概念と成果について確立した知識を獲得、研究領域と方法論に習熟、言語習得および学習に関する神話について議論し、その実体を解明、言語学習過程を個人レベルに適応させて理解する。			○		△	
児童英語教育論 a V331-140-21	児童英語教育の理論と実践を学ぶことを目的とする。	①第一言語、第二言語の習得に関する知識を得る②子どもの学び方の特性を知る③児童英語における効果的な指導法と教材を知る④自分自身の英語学習のヒントを得る。		△	◎	○		△
児童英語教育論 b V331-140-22	児童英語教育の理論と実践を学ぶことを目的とする。	①第一言語、第二言語の習得に関する知識を得る②子どもの学び方の特性を知る③児童英語における効果的な指導法と教材を知る④自分自身の英語学習のヒントを得る。		△	◎	○		△

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー (DP)					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
社会言語学 V331-136-11	社会的な外的要因が言語に与える影響について学ぶ。	①文化・社会と言語に関する知識を身につける。②言語を社会的な面から考察し、分析する力を身につける。		◎	◎	△	○	
英語教育実践法 V432-140-01	児童・生徒の英語学習・英語教育の理論を理解し実践で活用できるようにすることを目的とする。	①児童・生徒の英語の学び方を理解する②児童・生徒に英語を教える方法を身に付ける③教室での英語指導ができるようになる。		△	◎	○		○
Media English a V332-143-01	英語で発信する力を養うことを目的とする。	映像による英語ニュースを聴き取ることができる。	◎	○	△			
Media English b V332-143-02	英語で発信する力を養うことを目的とする。	映像による英語ニュースを聴き取ることができる。	◎	○	△			
Business English a V332-143-11	場面にふさわしい実用的かつ丁寧な英会話表現およびemail 表現を学ぶ。	「聞く、話す」能力を高め、かつ場面にふさわしい会話力とメール発信能力を高める	◎		○	◎		
Business English b V332-143-12	国際ビジネスや貿易業務の習慣やマナーを題材にした英文を読み、会話練習もする。	国際人として活躍するために必須のビジネス知識と世界的視野を確立し、実践的な英語運用能力を身につける。	◎	◎	○	◎		
貿易・実務英語 a V332-143-21	貿易取引の流れについての基礎知識を学び、貿易取引に関わる英文用語を習得する。	貿易に関わる物・書類・お金の流れを理解し、関連用語を習得する。	◎		○	◎		
貿易・実務英語 b V332-143-22	各貿易実務分野で使用される商業英語、貿易英語の会話・読み・書きを中心に学ぶ。	貿易の流れを理解した上で、貿易取引の諸局面で英語でのコミュニケーションが実践できる。	◎		○	◎		
国際関係論 V331-223-01	主要国の国際経済関係、経済戦略、地域経済統合、国際機関の働き、民間との関係等を学ぶ。	日本、米国、中国、アジア、欧州の地域経済・金融の統合への協力関係、政府・民間の協力体制の現状と課題を理解する。		◎	△		◎	
翻訳法 a V332-142-11	さまざまな分野の英日翻訳に取り組む。直訳的ではないこなれた自然な日本語に訳すために注意すべき点を具体例で検討し、適切な訳出方法や適切な訳語選択について学ぶ。	翻訳とは、「単にことばを置き換えること」ではなく、目的・読者・ジャンルに応じて様々な文体を使い分ける柔軟で高度な言語活動であることを理解し、実行できる。	◎	○	◎	◎		
翻訳法 b V332-142-12	直訳的ではない自然な英語に訳すために注意すべき点を具体例で検討し、適切な訳出方法や訳語選択について学ぶ。	文法や綴りに誤りがなく、かつ、目的・読者・ジャンルに応じた英語表現を柔軟に使い分けることができる。	◎	○	◎	◎		
通訳法 a V332-142-21	題材、教材を通じて、英語的資質、英語運用能力、思考力、論理性、コミュニケーション能力の向上を目指す。	十分に学習した内容であれば、安定したパフォーマンスで正確な逐次通訳ができる。美しい話し言葉としての日本語で発表することができる。	◎	○	◎	◎		
通訳法 b V332-142-22	題材、教材を通じて、英語的資質、英語運用能力、思考力、論理性、コミュニケーション能力の向上を目指す。	十分に学習した内容であれば、安定したパフォーマンスでボイスオーバー通訳ができる。美しい話し言葉としての日本語で発表することができる。	◎	○	◎	◎		

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー (DP)					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
Interpreter Guide V332-142-31	日本の観光名所・地理・文化・歴史を楽しく学びながら、やさしい英語で表現する力を養う。	日本の観光名所・地理・文化・歴史に関して、誰にでも理解してもらえるような「通じる英語」で英文が書ける。	◎	○	◎	◎		
観光実務論 a V331-811-11	エアラインの業務について、「カスタマー部門」と「オペレーション部門」の業務内容や役割を学ぶ。	エアラインの基礎知識、業務やサービスの多様性を理解することができる。		○	○		△	◎
観光実務論 b V331-811-12	旅行実務に必要な基礎知識、海外旅行の販売方法、添乗業務等の汎用的技能を学ぶ。	観光産業に必要な実務能力を身につけることができる。		○	○		△	◎
観光ビジネス論 a V331-811-21	旅行企画についての実務的な知識を修得する。	旅行プランニングに必要な汎用的技能を身につけることができる。		○	○		△	◎
観光ビジネス論 b V331-811-22	内外のホテルの事例研究から、ホスピタリティ・マインドを学ぶ。	深層的なホスピタリティ・マインドを考察する力を養うことができる。		◎	△		○	◎
English for Tourism V332-143-31	「個人旅行」のための基礎英語力や添乗員に必要な観光英語力や汎用的技能を分析、考察する。	添乗業務に必要な不可欠な観光英語力を身につけることができる。	○			◎	△	
ホスピタリティ論 V331-811-41	観光産業において必要不可欠な「ホスピタリティ・マインド」の意味、発生を、「サービス」理論に対比させ、その深層的な意味を分析、考察する。	事例分析により、観光産業従事者に必要なホスピタリティ・マインドを考察する力を養うことができる。		◎	○		△	◎
観光政策論 a V331-811-61	我が国の観光政策を国民・外国人、観光事業者、観光資源・観光地（地域）の視点から学ぶ。	観光立国の実現に関する目標を達成すべく策定された観光立国推進基本計画を修得することができる。			○		△	◎
観光政策論 b V331-811-62	観光政策に基づき、国や地方自治体の政策の具現化を事例研究から学ぶ。	日本版DMOについて、ビジネス視点で科学的根拠（フレームワーク）に基づき議論することができる。			○		△	◎
ホテル・旅館論 V331-811-71	ホテル・旅館の発展史や経営特性、商品特性を中心に基礎理論と実践論を学ぶ。	宿泊施設各部門の理解を促進し「ホテルビジネス検定（H検）」のベーシックレベル2級にチャレンジ出来る能力を身につけることができる。			◎		△	○
コンテンツ・ツーリズム V331-811-81	テーマ別観光を核に据えた観光地域の形成を事例から学び、旅行需要を創出する手法を会得する。	各自の興味・関心に基づき特定のテーマに関心の高い旅行者へ、より魅力的な旅行商品の訴求を行うことができる。			○		△	◎
エアライン特別講座Ⅰ V331-811-91	客室乗務員経験者による実践的な授業により、エアライン産業に必要なキャリア基礎力を修得する。	エアライン産業に必要な基礎的知識や具体的なマナー、立居振舞、接客方法を身につけることができる。	○		◎	△		
エアライン特別講座Ⅱ V331-811-92	客室乗務員経験者による実践的な授業により、高度な社会人力（ジェネリック・スキル）を修得する。	エアライン産業としてのホスピタリティ・マインドを身につけることができる。	○		◎	△		

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー（DP）					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
産官学連携講座Ⅰ V131-811-51	観光まちづくりを骨子とする観光資源論（観光地形成の基盤、観光地経営の動力源、観光商品の素材等）に着目し、愛知県日進市の観光資源に関連するツーリズム形態の可能性を考察する。	観光まちづくりに必要な観光資源に関する知識と技能を身につける。また、観光まちづくりに必要な情報収集力と分析力、課題発見力、構想力などの汎用的技能、創造的思考力を身につける。		△			○	◎
産官学連携講座Ⅱ V131-811-52	日進市が推進する「にしん版DMO構想」（観光まちづくり構想）や「道の駅」整備授業等に触れ、観光まちづくりや観光政策に関する基礎知識を習得する。	観光政策や旅行産業に関する知識と技能を身につける。実践的な授業展開により、観光まちづくりに必要な情報収集力と分析力、構想力、実行力などの汎用的技能、創造的思考力を身につける。		△			○	◎
産官学連携講座Ⅲ V231-811-53	旅行産業経験者を中心とするオムニバス形式の授業により、海外の観光地理を学ぶ。	旅行産業に必要な実務的な専門知識や汎用的能力を身につけることができる。（国家試験対策講座）		○	○		△	◎
産官学連携講座Ⅳ V231-811-54	ホテル産業経験者を中心とするオムニバス形式の授業により、ホテルに関する知識や技能を学ぶ。	ホテル産業に必要なマネジメント能力や日本独自の「おもてなし型サービス」を身につけることができる。		○	○		△	◎
語学研修事前講座 V222-852-02	①研修先の国の言語、民族、文化、気候などの国内事情について学ぶ。②入国、出国審査の際や海外滞在中などに必要になる英語表現を学ぶ。③留学の意義、旅行先での安全配慮義務などについて学ぶ。	旅行英会話の実践力とオーストラリア英語を理解する力を高める。留学の意義を理解し、協調性と責任感を持って行動できる自己を養う。		◎			△	
Study Abroad V212-852-01	語学研修やホームステイを通して、英語の運用能力を高め、多文化社会における異文化の理解を深める。	英語の運用能力を高め、異文化の理解を深め、グローバル社会の規範、規律を考察する力を養うことができる。	◎	◎			△	
海外事情 V321-801-21	アメリカ、イギリス、オーストラリア、日本のいずれかの文化や歴史を英語で学び、各所の文化や歴史への理解を深めると共に、日本との違いを理解できるようにする。	多様な文化、価値観に理解を示し、受容する能力を高め、多文化社会や多文化共生にまつわる諸問題について考察する力を養うことができる。	△	◎			○	△
基礎ゼミ V112-841-01	スタディスキル・アカデミックスキルの基本を身につける。	レポート・論文のテーマ決定から作成・プレゼンテーションまでを経験することにより、大学での知的生活を行う基本的な能力を身につける。		△			◎	◎
専門ゼミⅠa V312-842-01	専門分野の基礎知識、専門英語を学び、卒業論文・卒業研究作成に向けて問題探求力、分析力、判断力を養う。	卒業論文・卒業研究作成の基礎知識の修得。プレゼンテーションや共同研究により自主性、協調性を身につける。		△	△		◎	◎
専門ゼミⅠb V312-842-02	専門分野の基礎知識、専門英語を学び、卒業論文・卒業研究作成に向けて問題探求力、分析力、判断力を養う。	卒業論文・卒業研究作成の基礎知識の修得。プレゼンテーションや共同研究により自主性、協調性を身につける。		△	△		◎	◎

文学部グローバル英語学科 カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー（DP）					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的で実践的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
専門ゼミⅡa V412-842-03	各自設定したテーマをプロポーザルとして提出する。卒業論文・卒業研究の執筆に必要な方法を学ぶ。	卒業論文・卒業研究テーマの確定、プロポーザル提出、論文・研究執筆開始の実行。		△	△		◎	◎
専門ゼミⅡb V412-842-04	卒業論文・卒業研究の執筆、プレゼンテーション、ディスカッション、相互考察を重ねて卒業論文を完成させる。	卒業論文・卒業研究の執筆方法を完全に修得し、口頭試問への対応力を修得する。		△	△		◎	◎
卒業研究・論文 V416-845-01	卒業研究や論文作成のために必要な論文構造、先行研究、枠組みの設定方法、研究方法、分析・考察、結論、課題等の作成順序や書き方、論述方法等を学ぶ。	卒業研究や論文作成を通して、情報収集力、情報整理力、分析力、考察力、問題発見力、問題解決力、プレゼンテーション力、汎用的能力、基本的思考法（演繹法、帰納法）等を養うことができる。		△	△		◎	◎

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項

文学部グローバル英語学科 自由選択科目カリキュラムマップ			文学部グローバル英語学科のディプロマポリシー（DP）					
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	DP1	DP2	DP3		DP4	
			①英語力	②異文化理解力	③グローバルキャリア基礎力		④汎用的技能と創造的思考力	
			DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2	DP4-1	DP4-2
			グローバル社会で求められる実用的な英語コミュニケーション能力	グローバル社会で求められる多様な文化、価値観に対する理解と思いやりを示し、多文化共生とグローバルレベルの諸問題に取り組むことができる能力	英語力を生かせる職業分野の基礎知識、基本的な技能を有し、グローバル社会の発展に貢献することができる能力	専門分野で必要とされる英語表現の知識など、分野に特化した英語力	グローバル社会における課題を発見する能力	獲得した知識・技能を活用し、自己を律して他者と協働して、原因追及、情報収集、計画立案などの課題解決に求められる行動を主体的に行う能力
キャリア・デザイン Q238-861-01	自分の将来・進路を考える上で必要なステップを講義・演習を踏まえて体験し、自分に何が 필요한のか、今後何をすべきかを明確にする。就職活動の実際について情報提供を行いながら、自分の特徴・強みや、目標などを表現できるようになる。	①進路選択に向けて、自分なりの行動計画を立案できる。②就職活動時に必要となる自己表現（自分の強み、特徴、目標など）を自信を持って行えるようになる。③社会で必要とされる力を知り、自分の力を伸ばす行動に繋がられる。④業界・企業について具体的に情報収集・比較し、進路の検討を始められる。⑤チームで動く際に必要なコミュニケーションを試し、自信を持てるようになる。						○
インターンシップ Q238-861-02	企業や公的機関のインターンシップへの参加を通じて、働くことの意義や就職に向けて準備すべきことを考えられるようになる。実際の現場を体験することで、業界や職種の知識を得て、就業意識を高める。	①就業体験を通じて、将来のキャリア設計をより具体的に描くことができる。②就業体験と業種・業界知識や職場・職種の知識を就職活動に生かすことができる。③社会人としての基本的なマナーや行動を身につける。					△	○
地域連携学A Q132-861-08	産業界や行政のみでは対応できない問題に対する市民センターの取り組みを学ぶ。社会問題の解決に人を巻き込みながら挑戦する実務者（企業・行政・NPOなど）の講義を通じて、7つのテーマ（防災、子育て、教育、障がい、高齢化、国際、環境）の問題点と課題について考える。	①社会問題とその課題解決の方法・実践を学び、生活者としての視野を広げ、自分にも出来ることを考える。②講師との対話やグループ・ディスカッションを通じて、コミュニティーリーダーとしての仕事能力（特に、課題発見・解決へのアプローチ）、仕事を支えるスキル（特に、質問力、コミュニケーション力、情報編集力）の向上を目指す。					◎	◎
地域連携学C Q132-261-09	東日本大震災において福島第一原子力発電所による放射能汚染のために避難区域に指定された地域に赴き、地域の方々との交流を通して、避難指示解除後の復興の現状と力強く生きていくことの意味を実感する。	①フィールドワークを通じて「生きる力」への気付きを得たり、自己の成長を促せる。②被災地の現状を実感することができる。					○	◎
地域連携学D Q132-861-10	北海道厚沢部町が抱える地域課題である「過疎化」について考える。厚沢部町でファームステイをし、農業体験、地域のお祭りを手伝いをしながら厚沢部町の魅力を見つけ、厚沢部の魅力を伝える取り組みを行う。	①地域の課題を調べ、課題の解決に寄与するアイデアを提案できる。②提案したアイデアの実践に向けて活動できる。					○	◎

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項